

City of Kumamoto

熊本市 市勢要覧 2014

Outline of Kumamoto City



水と緑と情熱
わがまち
くまもと

発刊にあたって



熊本市は、清らかな地下水や豊かな緑などの自然環境に恵まれ、熊本城をはじめとする優れた歴史遺産と伝統文化を受け継ぐ、九州中央の拠点都市です。

私たち市民は、先人たちが築いてきたこの“ふるさと熊本”を誇りに思い、さらに活気あふれる魅力あるまちへと発展させるために、市民・事業者・行政がお互いの役割と責任を担いながら、協働のまちづくりを進めています。

進めています。

このような中、本市は平成24年4月に念願であった政令指定都市へと移行しました。本年度で政令市3年目を迎えますが、市民の皆様にもっと政令市効果を実感いただけるように、区役所を拠点とした迅速で総合的な行政サービスのさらなる充実と各区の特色を活かした自主自立のまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

また、少子高齢化や人口減少、都市間競争の激化など社会情勢が大きく変化していく中、本市が未来に向かって飛躍し続けるため、定住促進や少子化対策、交流人口の増加への取り組みを強化するとともに、基幹公共交通の機能強化、バス路線網の再編などの交通体系や、桜町・花畑地区の再整備などの中心市街地の再デザインを加速させてまいります。

そして、これらの持続可能で創造的なまちづくりを市民の皆様とともに進めていくことで、「日本一暮らしやすい政令指定都市」、観光やMICE開催地などの様々な面で「選ばれる都市」を実現してまいりたいと考えています。

この「2014年市勢要覧」が、皆様方に本市の取り組みをご理解いただく一助となれば、大変幸いに存じます。

平成26年4月 熊本市長 幸山 政史



H26.2
第2回熊本城マラソン



H25.10 第33回全国豊かな海づくり大会



H25.10 アジア太平洋サミット開催



H25.5
蘇州国家高新区交流都市
協定調印



H25.9
高雄市（台湾）国際交流
促進覚書調印



H25.10 クルーズ船初寄港



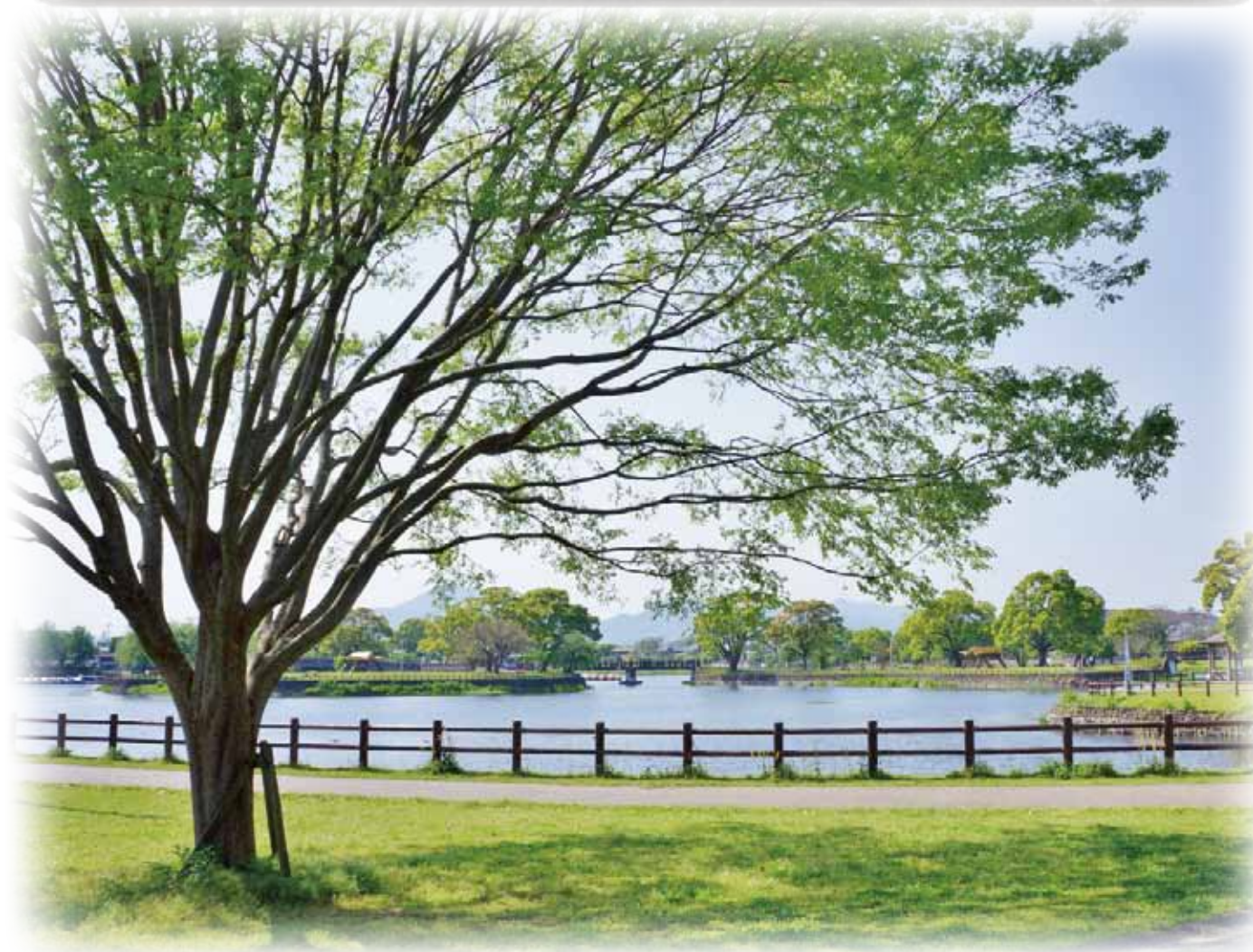
<熊本市自治基本条例>

個性豊かで活力に満ちた熊本市をみんなで築いていくために、
熊本市自治基本条例を平成22年4月に施行しました。

この条例では、自治の基本理念、市民・市議会・行政の役割及び
自治を推進するための基本的な事項を規定しています。

熊本市は、この条例に基づいて「自分たちのまちは自分たちで創る」
という考え方を基本に置いた、情報共有、参画、協働による

まちづくりを進めています。



CONTENTS[目次]

発刊にあたって

市の概要 2



中央区 4

東 区 6

西 区 8

南 区 10

北 区 12



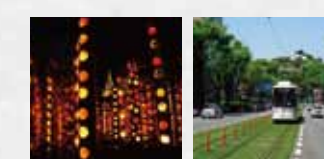
第6次総合計画 14

くらし わくわくプロジェクト 16

めぐみ わくわくプロジェクト 18

おでかけ わくわくプロジェクト 20

出会い わくわくプロジェクト 22

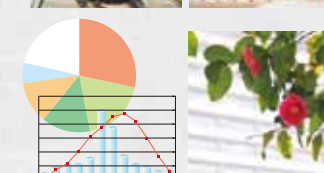


市 政 23

市議会 24

組織図 26

資料編 28



名誉市民 41

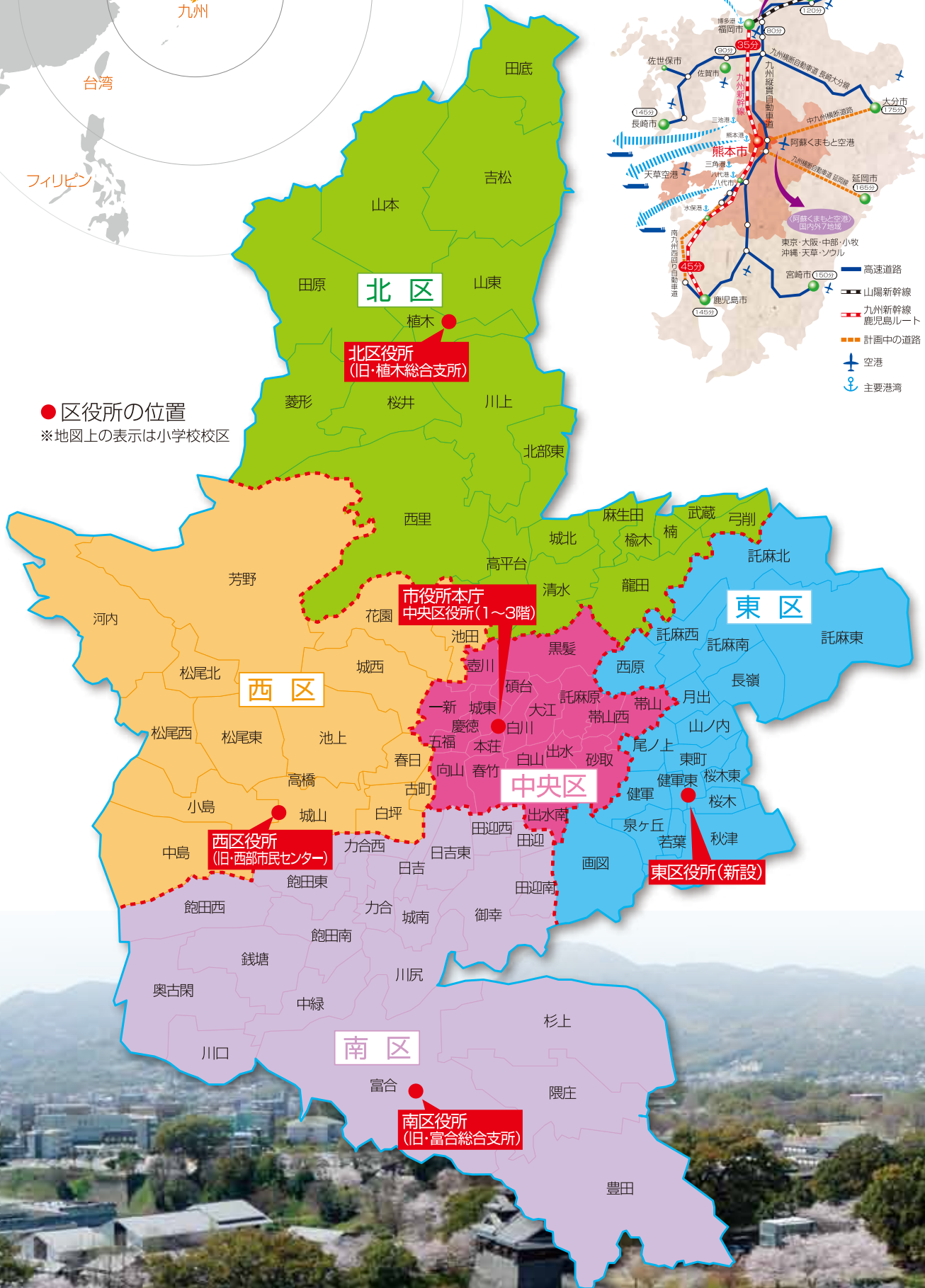
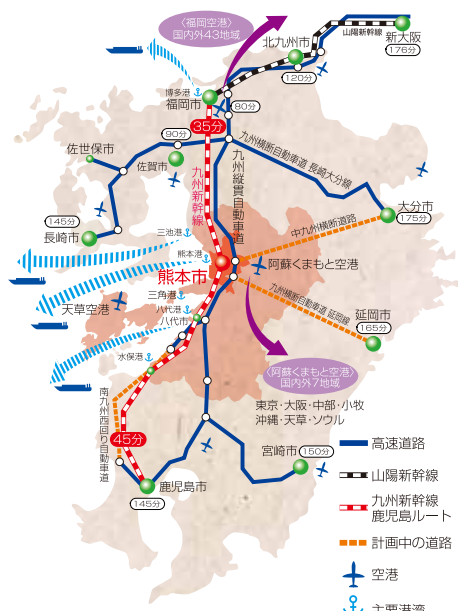
市のシンボル 裏表紙



City of
Kumamoto



City of Kumamoto outline
熊本市の概要



● 区役所の位置
※地図上の表示は小学校校区

■ 地域[位置・面積]

経度:東経130°42'29" 緯度:北緯32°48'12"
地点:中央区手取本町1番1号
総面積:389.54平方キロメートル
※世界測地系 資料:国土地理院,市統計課

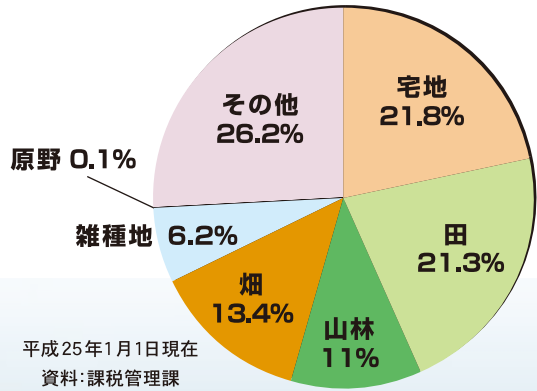
本市は九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分の位置にあります。
地勢は、金峰山を主峰とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪火山群によってできた丘陵地帯、南部は白川の三角州で形成された低平野からなっています。
気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気象条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

■平成 25 年推計人口に基づく行政区の人口等

区分	面積	人口	男	女	世帯数
中央区計	25.46	186,342	86,315	100,027	94,835
東区計	50.07	190,153	89,830	100,323	77,669
西区計	88.80	92,898	43,373	49,525	38,321
南区計	109.86	125,411	58,677	66,734	46,242
北区計	115.35	144,737	68,505	76,232	55,460
合 計	389.54	739,541	346,700	392,841	312,527

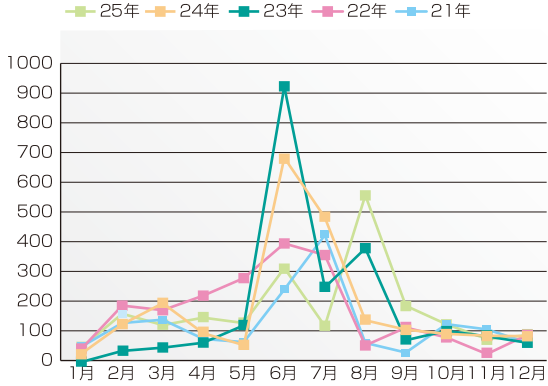
(H25.10.1現在推計人口)＜面積:国土地理院公表値＞
※推計人口とは 国勢調査確定値を基に毎月の転入・転出及び出生・死亡を増減したものです

■ 地目別土地面積の割合

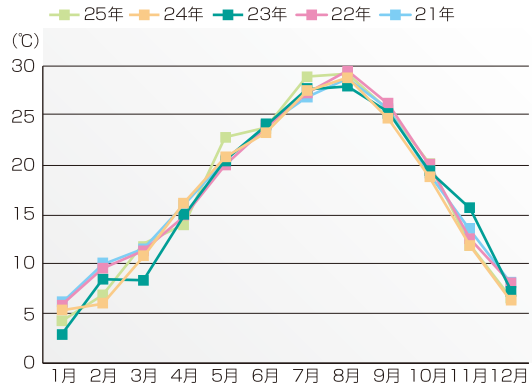


平成25年1月1日現在
資料:課税管理課

■ 過去5年間降水量比較 資料:熊本地方気象台



■ 過去5年間気温比較 資料:熊本地方気象台



■ 気温と降水量
(過去5年(平成21年～25年)の降水量と気温の平均)





中央区

中央区役所
〒860-8618 中央区手取本町1番1号
☎096-328-2555(代表)

中央区の人口(※H25.10.1現在推計人口)

人口 186,342人

世帯 94,835世帯

面積 25.46 km²(国土地理院公表値)



中央区は、城下町を中心に市街地が発展し、現在も城下町の風情と、県内一の商店街が広がる新旧の調和が保たれたエリアです。また、都市集積が進み、行政機関や企業の本店も多く、交通網の拠点として交通センターから放射線状にバス網が張り巡らされています。

一方、区内を白川と坪井川が縦断し、中心部の熊本城一帯や北部の立田山の豊かな緑、南東部の水前寺成趣園や江津湖等の湧水の潤いなど自然にも恵まれています。

新たな出会いと未来創造の都会まち

～つながる、中央区。～

■ めざす区の姿とまちづくりの方向性

基本方針 1

“きらり”とひかる品格ただよまちをつくる

- ・身近なまちの歴史や自然、文化を学び、育む機会の充実
- ・熊本城をシンボルとした城下町の風情の保全と創造
- ・おもてなしの心、笑顔にあふれたまちづくり
- ・「花いっぱい」など清潔で美しい生活環境づくり など

基本方針 2

“わくわく”があふれる活力と賑わいのあるまちをつくる

- ・歩きたくなる中心市街地の魅力の向上と発信
- ・身近な商店街の利用の増加と魅力向上
- ・若者や女性など多様な人材が活躍できる環境づくり
- ・文化・芸術あふれるまちの魅力向上 など

基本方針 3

“ほっと”できる安全で安心なまちをつくる

- ・挨拶や行事参加をととした区民のつながりづくり
- ・地域での防災訓練の実施やハザードマップ作成の推進
- ・地域や学校、警察などの関係機関の連携強化
- ・登下校時の見守りなど通学路の安全確保 など

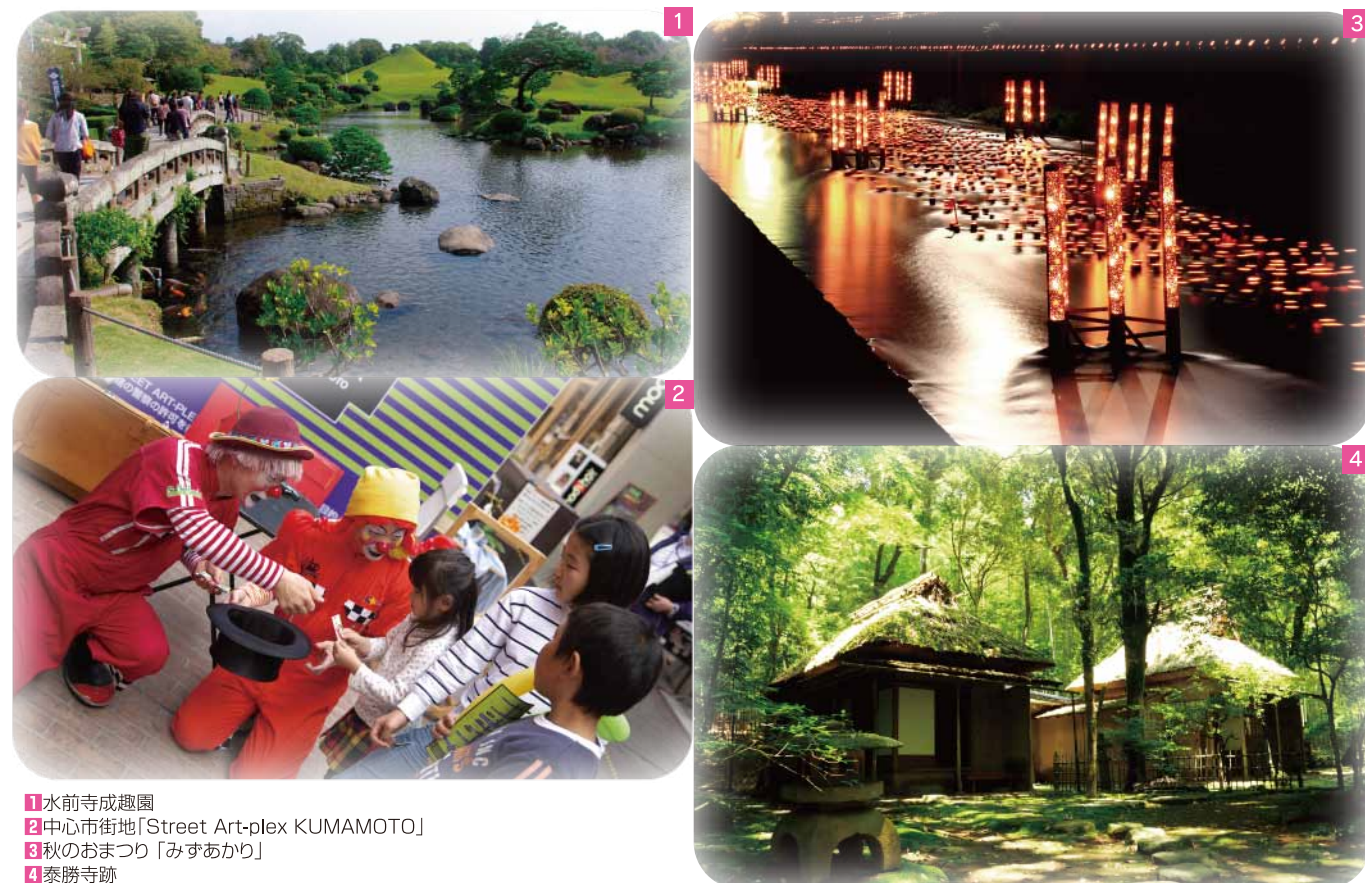
基本方針 4

“いきいき”と暮らせる健やかなまちをつくる

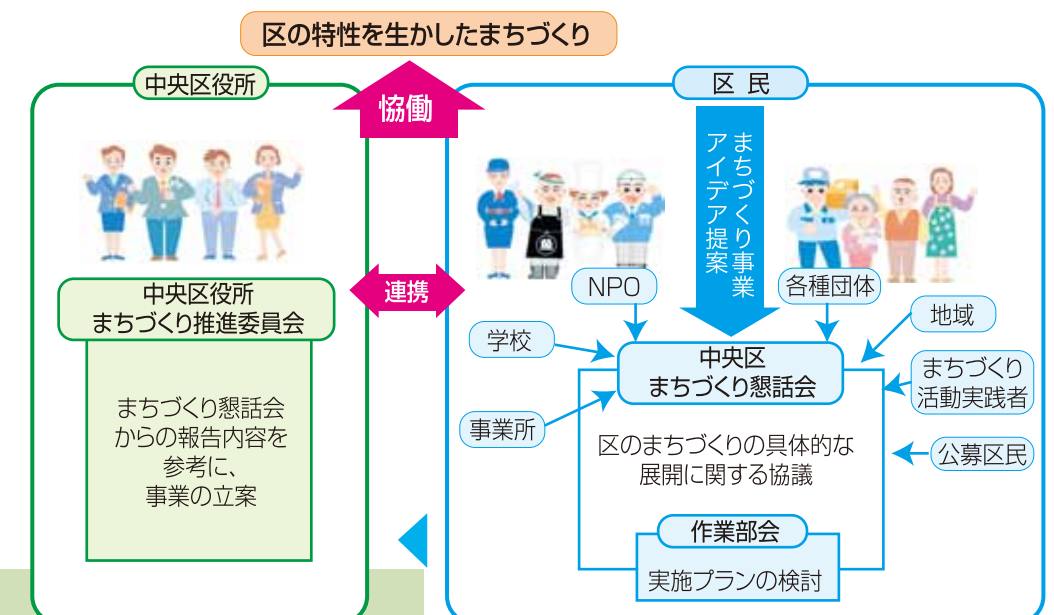
- ・高齢者を孤立させない仕組みづくり
- ・子育て支援や悩みを相談できる交流の場づくり
- ・障がいのある人が自らの能力を発揮できる場づくり
- ・生活習慣病予防などの校区で取り組む健康づくり など

■ まちづくりの推進体制

- 1.参画と協働によるまちづくり
- 2.情報の共有と住民対話の推進



1 水前寺成趣園
2 中心市街地「Street Art-plex KUMAMOTO」
3 秋のおまつり「みすあかり」
4 泰勝寺跡





東区

東区役所
〒862-8555 東区東本町16番30号
☎096-367-9111 (代表)

東区の人口 (※H25.10.1現在推計人口)

人口 190,153人

世帯 77,669世帯

面積 50.07km² (国土地理院公表値)



東区は、熊本市の東部に位置し、五つの区の中ではもっとも人口の多い地域です。

区域内には国道57号(通称東バイパス)や主要地方道熊本益城大津線(通称第二空港線)、一般県道熊本空港線(通称国体道路)等の主要幹線が走り、商業施設や医療機関、学校や福祉施設等も多く、都会の姿を見せる一方で、北には託麻三山、南には江津湖の自然が広がり、都市の利便性と自然とが調和した住環境に優れた地域です。



1 自然
区の北部には、託麻三山とそれに隣接して熊本県民運動公園があり、南部には1日40万トンもの湧水量を誇り、貴重な植物、魚が生息する江津湖や120種1000頭の動物と5万点の植物を有する動植物園等があり、市民の憩いの場となっています。

2 歴史文化
区の南部には、幕末の思想家横井小楠の家塾跡横井小楠記念館(四時軒)があり、小楠に関する資料のほか、勝海舟や吉田松陰、西郷隆盛などのゆかりある人々の書も展示されています。また、本格的ホールを持つ健康文化ホールは「生活文化拠点」として市民に利用されています。

3 商業とまちづくり
経済産業省の「新がんばる商店街77選」にも選ばれた健康商店街をはじめ、各地域で医商連携や環境、健康支援等、地域に根ざした商店街活動が行われています。また、区唯一の商工会、託麻商工会でも青少年健全育成や福祉への支援活動等、人々にやさしく、地域に愛される取り組みが行われています。

4 農業
供合、秋津、画図地区では、水田の区画整理が進み、豊かな地下水などを利用して、稲作を中心に麦や大豆が栽培されています。また、区内にはスイカ、ピーマン、トマト等の野菜や花きの施設園芸など、多様な農業が営まれています。小山戸島地区では、酪農をはじめとして肉用牛、豚の飼育が盛んに行われ、本市畜産の一大産地となっています。

自然豊かな笑顔あふれる未来のまち 東区

豊かな自然環境と快適でにぎわいのある住環境の中で、自然とふれあい、みんなの笑顔があふれ、活気に満ちた未来のあるまちをめざしていきます。

そのためには、自然や地域の歴史・文化を大切にするとともに、人と人とのつながりや地域と地域の結びつきなど新たな絆を広げながら、みんなで支えあい、誰もが健康で安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

めざす区の姿とまちづくりの方向性

基本方針 1

人と人が**つながり**世代を越えて語り合えるまち

- (1) 地域コミュニティ活動への参加促進
- (2) 地域団体の育成・支援
- (3) 地域の歴史・文化の活用

基本方針 2

誰もが**安全で安心**して過ごせるまち

- (1) 防犯活動の推進
- (2) 交通安全対策の推進
- (3) 災害に強いまちづくり

基本方針 3

誰もが**いきいき**と暮らせるまち

- (1) 健康づくり活動の推進
- (2) 子どもの育成環境づくり
- (3) みんなで助け合う福祉のまちづくり

基本方針 4

美しい自然を守り育て**ふれあえる**まち

- (1) 地域自然の保全と活用
- (2) まちの美化活動の推進

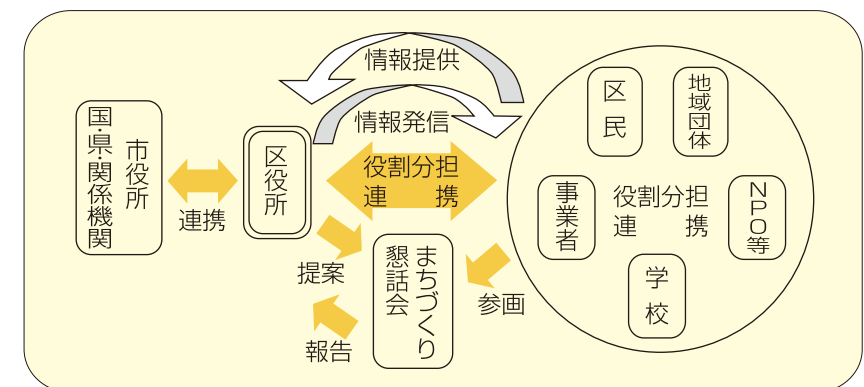
基本方針 5

暮らしやすく**活気**あふれるまち

- (1) 地域に根ざした経済の活性化
- (2) 生活環境の整備促進



まちづくりの推進体制





金峰望む華のあるまち西区



西区健康まちづくりキャラクターにしまる



西区

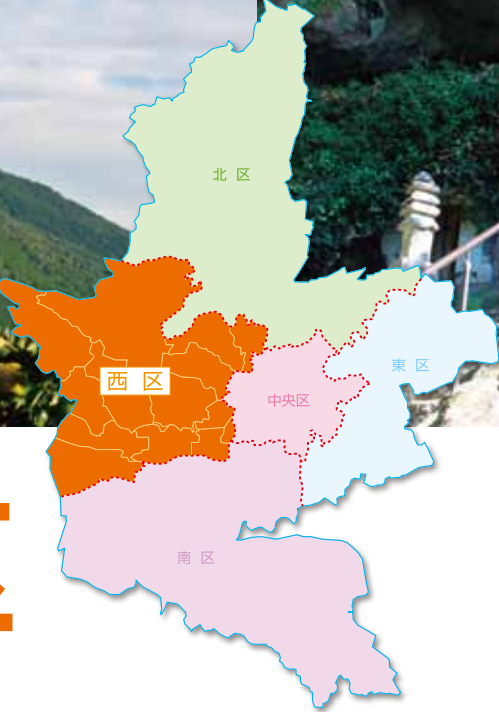
西区役所
〒861-5292 西区小島2丁目7番1号
☎096-329-1111 (代表)

西区の人口 (※H25.10.1現在推計人口)

人口 92,898人

世帯 38,321世帯

面積 88.80 km² (国土地理院公表値)



西区は、熊本市の西側に位置し、河内みかんなどの果樹栽培の盛んな金峰山、ノリやアサリ、ハマグリなどの養殖も盛んな有明海など豊かな自然に恵まれたところ です。加えて、陸の玄関である熊本駅、海の玄関である熊本港も擁しており、人や物の交流拠点として重要な役割を担っています。

また、国指定史跡である「池辺寺跡」や「千金甲古墳」のほか、宮本武蔵が五輪書を執筆した霊巖洞、加藤清正の菩提寺である本妙寺など名所、旧跡も数多く存在し、西区は「自然」「食」「賑わい」「歴史」に恵まれた地域となっています。



1 2



1 熊本駅
九州新幹線の全線開業により、九州の真ん中に位置する熊本市は、交通の要衝としての役割が飛躍的に高まり、関西圏との人的交流、商圏の拡大が期待されています。

2 熊本港
熊本の西部に位置し、熊本駅から車で約20分のところにある熊本の海の玄関口です。敷地からは島原と雲仙が望め、きれいな夕日スポットとしても人気です。

3 森都心プラザ
JR熊本駅前にある複合施設で、「観光・郷土情報センター」、「プラザ図書館」、「ビジネス支援センター」、「プラザホール」など多くの施設で構成されています。

4 本妙寺
加藤家代々の菩提寺で日蓮宗の名刹です。清正が父の菩提寺として大阪に建立したものを、肥後入国後、熊本城内に移し、清正の逝去後、さらに現在の中尾山中腹に移建されました。



4

めざす区の姿とまちづくりの方向性

重点的取り組み 1

安心安全のまちづくり

- ・治水対策の推進や災害時の情報の共有化
- ・災害時要援護者の災害時の安全確保
- ・見守りが必要な高齢者への支援
- ・誰もが安心して暮らせるための健康づくりや生きがいづくり

重点的取り組み 3

楽しさあふれるまちづくり

- ・豊かな自然や伝統・文化を磨き上げ魅力をアップ
- ・農村景観や都市景観の向上
- ・交通拠点からの観光ルートによる利便性向上
- ・熊本駅周辺への都市機能の集積と賑わい創出

重点的取り組み 2

子育てしやすいまちづくり

- ・子どもを産み育てやすい環境の整備
- ・母と子の健康づくり推進や子育て支援の充実
- ・安心して学び遊べる環境づくり
- ・子どもたちの地域参加活動や地域ふれあい活動の推進

重点的取り組み 4

農水産業を生かしたまちづくり

- ・農業、水産業の担い手育成
- ・安全安心で質の高い熊本ブランドの情報発信
- ・地産地消の推進と田崎市場の利活用
- ・農業体験などの活動支援による地域活性化

エリア別のまちづくり

西区は地域の特徴から、5つのエリアに分けられます。

各地域の特徴を生かしながら、区民の皆さんと協働でエリア別のまちづくりに取り組みます。



金峰山周辺の棚田



本妙寺の清正像



有明海の夕陽



西部エリア名産のレンコン



熊本駅と森都心プラザ



いきいき暮らしのまち 南区

みんなであつなぎ、みがき、ひろげる

いきいきとした自然や緑が育まれ、
活きの良い水産物、新鮮な農産物が
とれ、永い歴史・文化が**息づき**人々が
活発に交流し、暮らしの中に伝統文化
のある**粋**で、子どもから大人までが、安全で健康に**生き生き**と暮ら
す。

このようなまちづくりを、世代を超えて絆をつくり、南区の魅力を
磨きあげ、地域全体と将来に向かって広がっていきます。



南区

南区役所
〒861-4189 南区富合町清藤405番地3
☎096-357-4111 (代表)

南区の人口(※H25.10.1現在推計人口)

人口 125,411人
世帯 46,242世帯
面積 109.86km² (国土地理院公表値)

南区は、加勢川、緑川など一級河川が有明海に注ぎ、雁回公園や塚原古墳公園などの拠点的な公園緑地を有する、自然豊かな地域であり、区域の半分を占める農地では、ナスやトマト、メロン、きゅうり、花きなどの栽培が盛んに行われています。

一方で、城南工業団地、県内の流通の拠点である流通業務団地、新幹線熊本総合車両所などがあり、熊本の製造業、運輸業の中核を支える地域でもあります。



- 1 熊本総合車両所**
熊本総合車両所は、博多総合車両所、仙台の新幹線総合車両センターに次いで日本で3番目の新幹線の総合車両基地となります。
- 2 くまもと工芸会館**
古くから桶や刃物などの伝統工芸が盛んな川尻町にあり、川尻桶や刃物、肥後象嵌などの伝統工芸品と共に、陶芸、革細工、ステンドグラスなどの現代工芸品を展示しています。
- 3 川尻の船着場(熊本藩川尻米蔵跡)**
江戸時代、船荷の積み下ろしのために設けられた船着場。明治初期の記録では年間1,000艘を超える商船が行き来したとされています。
- 4 中無田閘門**
緑川と加勢川の水位を調整して船を通す水門施設で、木造門扉の現役閘門は、全国でも珍しい貴重な施設です。「ミニパナマ運河」として知られています。
- 5 塚原古墳公園**
国内最大級の国指定史跡「塚原古墳群」が広がり、桜やアジサイ、コスモスなど季節の花が咲くきれいな古墳公園に整備されています。
- 6 アクアドーム**
市民の皆様がスポーツを楽しみ、また豊かな暮らしを形成するためのスポーツコミュニティ拠点として身近に親しめる施設です。

めざす区の姿とまちづくりの方向性

基本目標 1

農と漁業を誇れるまち

- ・次の世代に農漁業をつなぎます
- ・生産者の顔が見える安全安心な農水産物を提供します
- ・多彩な農水産物への関心を高め、地産地消を進めます

基本目標 2

歴史・文化を育むまち

- ・地域の歴史や伝統、文化を知り、郷土愛を深めます
- ・まちの資源として、地域の歴史等の情報を発信し、人々の交流を活発にします
- ・歴史や伝統、文化を子どもたちに伝えます

基本目標 3

自然と共生した住みやすいまち

- ・山・川・海に身近に親しみ、豊かな自然を次の世代に継承します
- ・花や緑があふれるきれいなまちをつくります
- ・公共交通の利便性向上により、利用を促進します

基本目標 4

みんなが健康で元気なまち

- ・一人ひとりが健康に関心を持ち、自ら健康づくりに取り組む環境をつくります
- ・地域の資源を活用し、楽しく運動できる取り組みを進めます
- ・高齢者・障がい者の生きがいづくりを進めます

基本目標 5

地域ぐるみで子どもを育てるまち

- ・世代間の交流を深め、子どもたちに思いやりの心を育みます
- ・子どもたちがのびのびと学び、遊べる環境をつくります
- ・人や地域のつながりを深め、子育てしやすいまちをつくります

基本目標 6

安全・安心なまち

- ・地域を知り、防災意識を高め、一人ひとりが行動します
- ・ネットワークをつくり、地域ぐるみで支えあう体制をつくります
- ・河川や水路の改修など治水対策に取り組みます
- ・地域で防犯や交通安全活動に取り組みます

南区まちづくりのビジョン 実現への行動指針



ビジョン実現に向けて、自助、共助、公助の役割のもと、区民・地域団体等・行政の各々が〈知る〉〈集まる〉〈始める〉〈伝える〉の4つの段階で行動に移す指針を設定しました。

	① 知る	② 集まる	③ 始める	④ 伝える
区 民	みんなが南区の現状や魅力を知るよう努めます。	まちづくりを進めるための組織づくりやネットワーク化を進めます。	“すぐにできること”から取り組みます。	様々な取り組みを地域内外に広げ、将来世代につなげていきます。
地域団体等	一人ひとりが地域のことを学びます。	地域の一人としての自覚をもって組織やネットワークに参加します。	身近なところからまちづくりに取り組みます。	世代を超えて取り組みの輪を広げます。
行 政	地域の現状や魅力について知る機会をつくります。	地域で組織づくりやネットワーク化を進めます。	地域の様々な団体が連携してまちづくりに取り組みます。	地域間の連携を深め、取り組みの輪を広げます。
	南区の現状や魅力について周知に努め、知る機会をつくります。	南区全体での組織づくりやネットワーク化を支援します。交流の場をつくります。	様々な地域団体等の活動を支援し、ともに行動します。	南区のまちづくりについて、世代や区域を超えて広く情報発信します。



北区

北区役所
〒861-0195 北区植木町岩野238番地1
☎096-272-1111(代表)

北区の人口(※H25.10.1現在推計人口)

人口 144,737人

世帯 55,460世帯

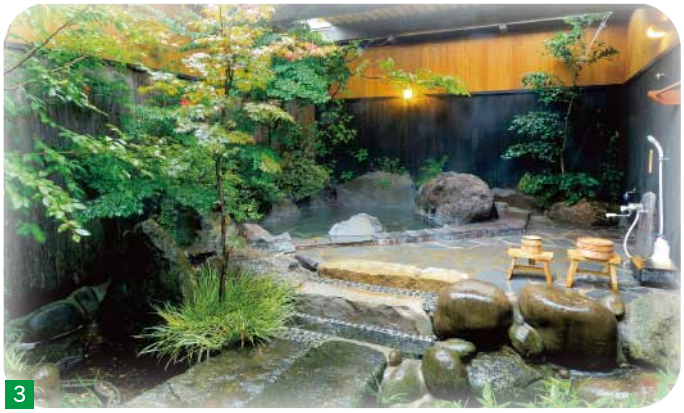
面積 115.35km²(国土地理院公表値)



北区は熊本市の北部に位置し、五つの区の中でもっとも面積が大きい区です。

区域内を国道3号が走り、豊かな農産物に恵まれ、田原坂、武蔵塚等の史跡、また、本市の上水道発祥の地である八景水谷公園や立田山等歴史・文化そして自然も豊かです。

また植木温泉や宮原温泉、菊南温泉、梶尾温泉など癒しを得られる場所に富み、「食」「歴史」「自然」「温泉地」に恵まれた暮らしやすい地域です。



1 八景水谷公園
水と遊び、水を学ぶ公園。園内には、豊富な湧水量を誇る水源や、小さな子どもも水と触れ合える池、水について学べる「水の科学館」があり、水と親しめる公園となっています。

2 田原坂資料館
西南の役当時の貴重な官軍両軍の武器・弾薬・備品などの遺品や戦争資料が展示してあります。

3 植木温泉
「熊本市の奥座敷」として知られる温泉。なめらかな泉質で、「美人の湯」と呼ばれており、近くには絶世の美人・小野小町が産湯に使ったという伝説の残る泉水もあります。

4 フードパル熊本
食に関する施設が集まる食のテーマパーク。園内では工程の見学やソーセージづくりなどの体験ができます。

5 武蔵塚公園
剣豪・宮本武蔵が眠る公園。園内には、象徴の二刀を携えて立つ武蔵のブロンズ像も置かれ、日本庭園や茶室などもある緑多い静かな公園となっています。



ずっと住みたいわがまち北区

歴史・自然・文化・人がつながり 個性輝くまちをめざします

北区には多様な歴史や豊かな自然環境、住民同士のつながりや個性あるまちづくり活動の実績があり、多くの住民が北区に住むことを誇りに思っています。その思いを次世代に引き継いでいくために、5つの基本方針のもと様々なまちづくり活動に区民と行政が協働し、取り組みます。



「北区の花」とシンボルマークを決定しました。「区の花」を決定するにあたっては、明るいイメージ、上に向かって成長していく、ご家庭でも育てやすいなどの理由から「ひまわり」になりました。シンボルマークは全国各地から応募があり、厳正な審査を経て左のマークに決定しました。

めざす区の姿と基本方針

基本方針 1

健康と暮らしの安全・安心の向上

- ・校区単位の健康まちづくりの推進
- ・高齢者・子どもの見守り活動支援
- ・自主防災組織との連携 など

基本方針 3

まちの賑わいと産業の振興

- ・農産物の地産地消
- ・スイカなどの特産品の PR
- ・地元商店の利用促進 など

基本方針 5

住民自治と協働の推進

- ・校区のまちづくり活動の活性化
- ・校区や地域間での人材交流
- ・若者や女性の地域活動への参画促進 など

まちづくりの推進に向けて

それぞれの地域の個性を生かしたまちづくりを進めるとともに、これらの地域がつながることでさらに魅力ある新しいまちづくりの可能性を広げます。



めざす
まちの姿

City of Kumamoto outline

熊本市第6次総合計画

わく わく

湧々都市くまもと



熊本市第6次総合計画の体系

基本構想

まちづくりの基本理念

●めざすまちの姿●

『湧々(わくわく)都市くまもと』

～九州の真ん中! 人ほほえみ 暮らしうるおう 集いのまち～

まちづくりの重点的取り組み

「くらし わくわく」プロジェクト
「めぐみ わくわく」プロジェクト
「おでかけ わくわく」プロジェクト
「出会い わくわく」プロジェクト

分野別取り組みの基本方針

めざすまちの姿の実現に向けた分野ごとの施策の基本方針

構想を推進するために

「九州ど真ん中! 日本一暮らしやすい 政令市くまもと」

～政令指定都市比較～

- 地下水日本一 取水量の地下水の取水 **第1位** 2013年の国連「生命の水(Water for Life)」最優秀賞(水管理部門)を熊本市が受賞
国連事務局は、2005-2015を「生命の水(Water for Life)」行動のための国際10年と定め、世界各都市で行われている特に顕著な水管理の取り組みを2011年から「世界水の日」(3月22日)に表彰しています。
本市は、2015年3月22日、オランダ・ハーグ市において開催された「世界水の日 国際式典」において国連「生命の水(Water for Life)」最優秀賞(水管理部門)を受賞し、表彰を受けました。
なお、日本からは本市がはじめての受賞となります。
- 豊かな一次産業 国勢調査第1次産業就業者比率 **第2位**
- 生活しやすい環境 全国物価地域差指数 **第3位** 都道府県地価調査平均価格 **第5位**

計画期間:平成21年度～平成30年度

基本計画

平成25年度に基本計画中間見直しを実施
今後の本格的な人口減少社会の到来を見据え、将来にわたり人口70万人規模を維持し都市機能や住民の生活の質を向上させることができる、持続可能で創造的な都市を目指すという視点から、定住促進、少子化対策、交流人口の増加の3つの取り組みを強化することとしました。

計画の前提

都市整備の方針

まちづくりの重点的取り組み

①「くらし わくわく」プロジェクト

夢わく1 子どもも大人もみんなの笑顔が輪になるまちをつくる

夢わく2 だれもが能力を発揮でき、将来も住み続けたいと思えるまちをつくる

②「めぐみ わくわく」プロジェクト

夢わく3 ふるさとの自然を守り、世界に誇れる環境先進都市をつくる

夢わく4 伝統と文化が息つき、「くまもと」の恵みを満喫できるまちをつくる

③「おでかけ わくわく」プロジェクト

夢わく5 だれもおでかけしたくなるまちをつくる

夢わく6 バス・電車、自転車などで気軽にオデかけできるまちをつくる

④「出会い わくわく」プロジェクト

夢わく7 温かいおもてなしの心があふれ、楽しい交流が生まれるまちをつくる

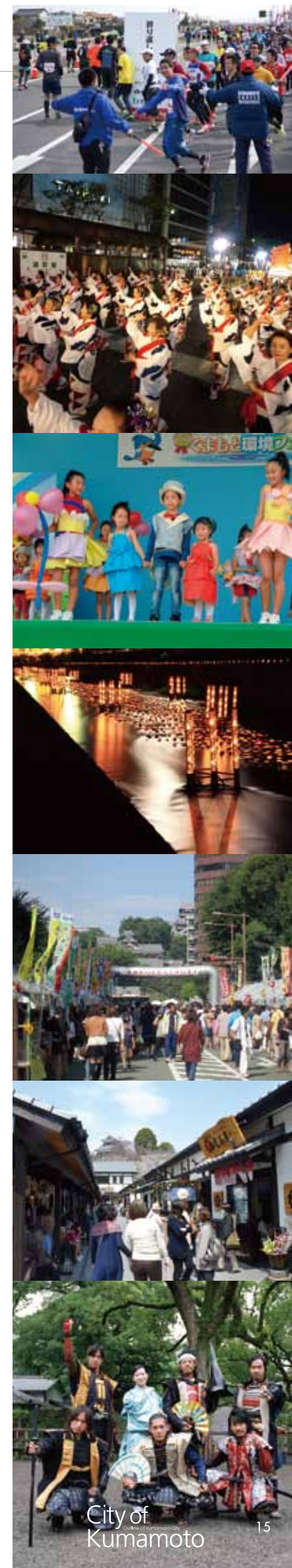
分野別施策

- 1 一人ひとりの人権が等しく尊重され、わけ隔てなく参画できる社会の実現
- 2 とともに支え合い、文化に親しみ安全で安心して心豊かに暮らせる生活の実現
- 3 生涯を通して健やかで、いきいきと暮らせる保健・福祉の充実
- 4 子育てしやすく、子どもたちの健やかな成長をはぐくむ環境づくりの推進
- 5 豊かな人間性と未来を切り拓く力をはぐくむ教育の振興
- 6 水と緑の良好な環境の保全と循環型社会の構築
- 7 地域の活力をつくりだす産業・経済の振興
- 8 安全でだれにも優しく使いやすい都市基盤の充実

危機管理

区別計画

基本計画の推進に向けて



City of
Kumamoto

①くらし わくわくプロジェクト

私たちの
約束

「私たちは、すべての人がいきいきと暮らし、
将来の夢と希望を描けるまちをつくります。」



次の時代を担う子どもたちは、まちの宝です。子どもたちの笑顔がまちを輝かせます。

子どもたちがいきいきと育ち、若者や女性、高齢者、障がいのある人なども、だれもが能力を発揮し、夢と希望を描きながら生涯にわたって「くまもと」に暮らし、その夢を実現できるまちをつくるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

夢わく① 子どもも大人もみんなの笑顔が輪になるまちをつくる

子どもたちが笑顔になると家庭も地域も明るく元気になる。
そんな、みんなの笑顔が輪になり広がるまちをつくります。

主な取り組み

①子どもたちが楽しく、いきいきと 学び遊べる環境づくり

- 放課後の学びや遊びの場である部活動、児童育成クラブや放課後子ども教室、元気に安全に遊べる公園など、子どもが楽しく親が安心できる居場所づくり
- 学ぶ楽しさ・分かる喜びを実感できる学習、自然や生き物、芸術・文化とふれあう体験、住んでいるまちを誇りに思い、郷土の先輩や熊本の歴史に学ぶ機会づくり など

具体的な取り組み例

- ナイスライ事業経費／指導課
- こんにちは赤ちゃん事業／子ども支援課
- 乳幼児ママ・パパ教室事業／子ども支援課

②社会全体で子育てやワーク・ライフ・ バランスを応援するまちづくり

- 子どもを安心して産み育てられる保育、保健・医療サービスの充実や、既存の保育園や幼稚園を生かした新たな保育環境づくり。
- 女性や子育て世代などがいきいきと活動できるよう、仕事と子育てなどの両立を支援する仕組みづくり など

中学生を対象とした
職場体験活動



中学生を対象とした
職場体験活動



感性をみがく
教育の推進（芸術）



乳児のいる
家庭への訪問



乳幼児ママ・パパ教室

夢わく② だれもが能力を発揮でき、将来も住み続けたいと思えるまちをつくる

若者が夢を持って働き、高齢者や障がいのある人も、だれもが自分の能力を発揮しながら、ずっと「くまもと」に住み続けたいと思えるまちをつくります。

主な取り組み

①暮らしを支え、働く意欲に応える 「くまもと元気産業」づくり

- 豊かな農水産物を生かした6次産業化や農商工連携、食を通じた観光振興、集積する高等教育機関との産学連携や企業のイノベーションの促進、新商品開発や起業化支援などによる新たな産業の創出
- 医療・福祉・健康関連産業や環境関連産業、クリエイティブ産業等、本市の地域特性を生かした産業の振興と就業機会の拡充
- ICT等の活用による生産性の高い農業経営や次世代を担う多様な担い手の確保・支援による強い農業づくりの推進、様々な人材が自然の恵みを生かし暮らす活気あふれる元気な農村地域の創造 など

具体的な取り組み例

- 企業誘致戦略事業／企業立地推進室
- 市民公益活動推進経費／市民協働課
- 防災情報伝達体制整備事業／危機管理防災総室

主な取り組み

②暮らしを豊かに、将来も住み続けたいと 思える地域づくり

- 多様な世代の地域活動への参加を促す仕組みづくりなど、若者の行動力やシニア層の経験等を生かした個性豊かな地域づくりの推進
- 子どもや高齢者・障がいのある人の見守り、防災・防犯などに対する地域力の強化による、だれもが安全安心して暮らせる地域づくりの推進
- 子育て世代や創造的人材など、多様な人々が暮らしやすさを実感できる環境づくり など



市民活動団体の活動支援
（あいぽーと文化祭）



自主防災クラブ活動



企業誘致説明会
（東京開催）



②めぐみ わくわくプロジェクト



「私たちは、先人から受け継いだ豊かな恵みをはぐくみ、次の世代に引き継ぐまちをつくります。」

「くまもと」は、歴史・文化と自然の宝庫です。
この恵まれた環境と素材にさらに磨きをかけ、世界に誇れる質の高いまちをつくりあげるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

夢わく③ ふるさとの自然を守り、世界に誇れる環境先進都市をつくる

地域環境の保全はもとより、温暖化対策をはじめとする地球環境問題に率先して取り組み、「日本一の地下水都市」「森の都」の名にふさわしい世界に誇れる環境先進都市を目指します。

主な取り組み

①地球温暖化防止をリードする都市づくり

- 環境保全型エネルギーの活用や省エネルギーの推進、公共交通機関の利用促進などによる、低炭素都市の実現
- 屋上緑化や壁面緑化などによるヒートアイランド現象の緩和 など

②見て、ふれて、豊かさを体感できる水と緑の空間づくり

- 「熊本水遺産」や名水百選の活用、街かどの水の演出など、地下水都市を印象づける空間づくり
- 街なかにおける木陰づくりや市電軌道敷緑化など、新たな緑の創出による「森の都」を印象づける空間づくり など

具体的な取り組み例

- 屋上等緑化経費／環境共生課
- 地下水都市熊本空間創出経費／水保全課
- 市電緑のじゅうたん事業／環境共生課
- わくわく江津湖フェスタ
環境フェア開催経費／環境政策課

③地球環境を守るライフスタイルの実践

- 省エネや節水運動、ごみ減量・リサイクル(3R)の推進などによる、市民総参加の持続可能な資源循環型社会づくり など



まちなかに設置された親水施設



屋上緑化



緑のカーテンの設置

市電軌道敷に設置された緑のじゅうたん



環境フェアの開催



夢わく④ 伝統と文化が息づき、「くまもと」の恵みを満喫できるまちをつくる

熊本城に象徴される歴史的遺産や伝統、文化をはじめ、風情ある町並み、安全でおいしい水や食材などの本市特有の豊かな恵みを、魅力的な市民共有の財産として今の時代に生かし継承するとともに、市民の健康づくりを支える食文化のまちをつくります。

主な取り組み

①地域に息づく伝統や市民の力が生み出す新しい熊本文化の振興

- 市民総参加による熊本城復元整備計画の推進や、俳句、邦楽、神楽や獅子舞などの地域に伝わる伝統の継承、「みずあかり」などの市民の力が生み出す新しい熊本文化の振興 など

具体的な取り組み例

- 熊本城第II期復元整備事業／熊本城総合事務所
- 学校給食・食育推進事業／健康教育課
- 城下町の風情を感じられる町並みづくり事業／開発景観課

②豊かな農と食の恵みを生かしたまちづくり

- 熊本の良質な食材と食文化を生かした食育の推進による健康づくりや、熊本産の花で彩るうるおいのある暮らしづくり
- 肥後スープなどの地産地消メニューの開発・販売や、地産地消レストラン等の認定・拡大等による、「食の恵みのまち くまもと」の確立と発信 など



学校給食を通じた地域とのふれあい

農産物フェア



熊本城の復元整備



城下町の風情を感じられる町並みづくり



③おでかけ わくわくプロジェクト



「私たちは、だれもが気軽におでかけできるまちをつくれます。」

おでかけが楽しいまちは、人の元気とまちの元気があふれるまちです。

日常のおでかけ、休日のおでかけ、遠くへのおでかけが楽しく、便利なまちをつくるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

夢わく⑤ だれもおでかけしたくなるまちをつくる

中心市街地や地域の商店街、動植物園、江津湖などの拠点の魅力を高め、友達や家族と楽しく語らいながら、花や緑などの季節の移ろいや、まちの魅力をゆったりと味わうことが出来る、おでかけすることが楽しいまちをつくれます。

主な取り組み

①にぎわいと楽しさあふれるまちづくり

- ストリート・アート・プレックス、ゆかたまつりなどのにぎわい創出による中心市街地の魅力の向上や、地域のまつり、商店街のイベントなど、地域の個性を生かしたにぎわいづくり
- マスコミ、ホームページ、携帯電話などを活用した、積極的なイベント情報の発信 など

具体的な取り組み例

- 商店街活性化対策事業／商工振興課
- 城下町大にぎわい市開催事業／商工振興課
- 動植物園再編整備経費／動植物園
- わくわく江津湖フェスタ開催経費／観光振興課

ストリート・アート・プレックス
クマモト



城下町大にぎわい市の開催



わくわく江津湖フェスタ



動植物園再編整備

夢わく⑥ バス・電車、自転車などで気軽におでかけできるまちをつくる

仕事へ、学校へ、買い物へ、私たちの毎日は、おでかけの連続です。日常生活において、クルマがなくてもだれもが気軽に快適に移動できるまち、遠くへのおでかけの際に、その交通拠点へのアクセスがしやすいまちをつくれます。

主な取り組み

①だれもが利用しやすい公共交通システムの整備

- 交通機関相互の結節強化やバス網再編、コミュニティバスの導入検討やデマンドタクシーの充実、利用者のニーズに即したダイヤ改正などによる公共交通機関の利便性の向上
- 車輦・施設・設備等のバリアフリー化、ICカードの導入による公共交通機関と商店街などとの連携促進 など

具体的な取り組み例

- 公共交通機関利用促進経費／交通政策総室
- 熊本市優待証交付経費／健康福祉政策課
- 熊本市おでかけパス券交付経費／障がい保健福祉課
- 放置自転車ゼロ作戦推進経費／土木管理課



放置自転車ゼロ作戦



②自転車が利用しやすい環境や快適な歩行空間の整備

- 街なかにおける駐輪場や自転車走行環境の整備などによる自転車が利用しやすい環境づくりや、市民一人ひとりの自転車利用マナー向上や木陰の創出などによる安全で快適な歩行空間の創出 など

③駅、港、空港、高速インターチェンジと都心とのアクセス向上

- スマートインターチェンジの整備促進、熊本駅や交通センター等から空港への公共交通機関によるアクセス機能の強化 など

おでかけパス券の交付



さくらカードの交付



電停のバリアフリー化



でんでんニモカ



熊本市第6次総合計画

④ 出会い わくわく プロジェクト

私たちの
約束

「私たちは、おもてなしの心で
様々な出会いが生まれる
まちをつくります。」



「くまもと」は、九州の真ん中！
九州の元気を繋ぐまちです。
内外の多くの人々が「くまもと」を
訪れ、楽しい豊かな時間を過ごしてい
ただける“おもてなしのまち”をつくる
ため、次の「夢わく」を推進します。

夢わく⑦ 温かいおもてなしの心があふれ、楽しい交流が生まれるまちをつくる

来熊者が「くまもと」に良い印象を持って、何度も訪れてもらえるような、
温かいおもてなしの心とまちの魅力・活気があふれ、楽しい交流が生まれる
まちをつくります。

主な取り組み

①世界に誇る熊本シティブランドづくりと
国内外への「くまもと」の魅力の発信

○「熊本城」や「地下水」など、「くまもと」の魅力を生かしたま
ちづくりや国内外へのシティプロモーション活動の推進
など

②おもてなしの心でもてなす人と仕組みづくり

○観光ボランティアの育成や熊本のファンを増やすなど、郷土
への愛着と来熊者へのおもてなしの心をもった人づくりの
推進
○外国語の案内表示の設置など、外国人が一人でも安心して
歩けるような、世界で通用するおもてなしの仕組みづくり
など

③九州、アジアの交流拠点にふさわしい
まちづくりと内外との活発な交流の促進

○九州中央の交流拠点にふさわしい、城下町の風情とにぎや
かな商業空間が調和した中心市街地の形成や、熊本駅をは
じめとした広域交通拠点における結節機能の向上や中九州
横断道路の整備促進など、九州中央のハブ機能の確立
○九州各都市や東アジア諸都市との学術・文化、観光・経済な
ど幅広い分野での交流の促進や、国際会議や各種イベント
をはじめとするMICEの誘致、中心市街地へのMICE施設の
整備等による交流機会の拡充 など

具体的な取り組み例

- 桜の馬場観光交流施設管理運営経費／観光振興課
- 熊本城おもてなし武将隊広報経費／熊本城総合事務所
- MICE推進事業／MICE推進室

くまもとMICE
誘致推進機構

桜町地区再開発イメージ

桜の馬場 観光交流施設
(桜の馬場 城彩苑)

熊本城おもてなし武将隊

市 政

■ 歴代市長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉 村 大 八	明治22. 5. 6	明治26. 7. 9
2	松 崎 為 己	〃 26. 9.15	〃 30. 8. 2
3	辛 島 格	〃 30. 9.13	大正 2. 1.20
4	山 田 珠 一	大正 2. 4. 2	〃 3.10.10
5	依 田 昌 兮	〃 4. 1.14	〃 6. 9. 3
6	佐 柳 藤 太	〃 6.11.20	〃 10.11.19
7	高 橋 守 雄	〃 11. 1.19	〃 14. 7.13
8	辛 島 知 己	〃 14. 9.14	昭和 4. 7. 4
9	山 田 珠 一	昭和 5. 2. 5	〃 9. 4.17
10	山 隈 康	〃 9. 5.14	〃 17. 5.13
11	平 野 龍 起	〃 17. 6.25	〃 20. 8.10
12	石 坂 繁	〃 20.10. 4	〃 21. 3.11
13・14	福 田 虎 亀	〃 21. 6.14	〃 23. 2. 9
15	佐 藤 真佐男	〃 23. 4. 7	〃 27. 3. 7
16	林 田 正 治	〃 27. 3.20	〃 31. 2.23
17・18	坂 口 主 税	〃 31. 3.16	〃 38. 1. 4
19・20	石 坂 繁	〃 38. 2.15	〃 45.11.26
21~24	星 子 敏 雄	〃 45.12.20	〃 61.12. 6
25・26	田 尻 靖 幹	〃 61.12. 7	平成 6.12. 6
27・28	三 角 保 之	平成 6.12. 7	〃 14.12. 2
現市長	幸 山 政 史	〃 14.12. 3	在 任 中

熊本市長
幸山 政史副市長
高田 晋副市長
牧 慎太郎



歴代市議会議長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	有馬源内	明治 22. 4. 26	明治 24. 1. 21
2	興津景章	〃 24. 1. 22	〃 28. 5. 13
3	河原惟親	〃 28. 5. 14	〃 31. 5. 22
4	吉永為己	〃 31. 5. 23	〃 36. 2. 5
5	山田珠一	〃 36. 2. 6	〃 37. 4. 30
6	吉永為己	〃 37. 5. 27	大正 2. 4. 30
7	林千八	大正 2. 5. 10	〃 6. 4. 30
8	山隈康郎	〃 6. 5. 15	〃 10. 9. 30
9	迫源次	〃 10.10. 14	〃 14. 9. 30
10	山隈康郎	〃 14.10. 12	昭和 9. 5. 7
11	平野龍起	昭和 9. 5. 8	〃 17. 6. 14
12	佐藤真佐男	〃 17. 7. 23	〃 22. 4. 29
13	佐藤真佐男	〃 22. 6. 9	〃 23. 4. 7
14	大塚勇次郎	〃 23. 6. 5	〃 26. 4. 29
15	大塚勇次郎	〃 26. 5. 15	〃 30. 4. 30
16	兼坂安次	〃 30. 5. 21	〃 34. 4. 8
17	打出信行	〃 34. 6. 12	〃 36. 3. 24
18	寸坂幸夫	〃 36. 3. 24	〃 38. 4. 30
19	阿部次郎	〃 38. 5. 18	〃 40. 3. 18
20	阿井常	〃 40. 3. 18	〃 40.12. 7
21	石井辰雄	〃 41. 7. 4	〃 42. 4. 30
22	阿部次郎	〃 42. 5. 20	〃 43. 7. 3
23	坂梨日露	〃 43. 7. 13	〃 45.12. 4
24	黒田弥一	〃 45.12. 4	〃 46. 4. 30
25	落水清雄	〃 46. 5. 20	〃 48. 6. 6
26	古川国雄	〃 48. 6. 6	〃 50. 4. 30
27	紫垣正堅	〃 50. 5. 16	〃 52. 6. 4
28	上田堅太	〃 52. 6. 4	〃 54. 4. 30
29	島永慶太	〃 54. 5. 14	〃 56.12. 8
30	藤山増美	〃 56.12. 8	〃 58. 4. 30
31	宮原光男	〃 58. 5. 18	〃 60. 9. 6
32	大石文夫	〃 60. 9. 6	〃 61.12. 15
33	内田幸吉	〃 61.12. 15	〃 62. 4. 3
34	西村建治	〃 62. 5. 22	〃 63.12. 16
35	村上春生	〃 63.12. 16	平成 2. 3. 26
36	矢野昭三	平成 2. 3. 26	〃 3. 4. 30
37	嶋田幾雄	〃 3. 5. 17	〃 5.12. 3
38	中村徳生	〃 5.12. 3	〃 7. 4. 30
39	荒木哲美	〃 7. 5. 19	〃 9. 3. 27
40	主海偉佐	〃 9. 3. 27	〃 11. 4. 30
41	江藤正行	〃 11. 5. 21	〃 13. 6. 8
42	白石正一	〃 13. 6. 8	〃 14. 6. 18
43	宮原政一	〃 14. 6. 18	〃 15. 4. 30
44	落水清弘	〃 15. 5. 23	〃 16. 9. 7
45	古川泰三	〃 16. 9. 7	〃 17.12. 20
46	税所史	〃 17.12. 20	〃 19. 4. 30
47	牛嶋弘	〃 19. 5. 24	〃 20.12. 22
48	竹原孝昭	〃 20.12. 22	〃 22. 3. 2
49	坂田誠二	〃 22. 3. 2	〃 23. 4. 30
50	津田征士郎	〃 23. 5. 23	〃 25. 3. 26
51	齊藤聡	〃 25. 3. 26	〃 26. 3. 24
52	三島良之	〃 26. 3. 24	在 任 中

市議会とは、市民から選ばれた議員48名（現員数うち1名は合併特例によるもの）で構成されています。会派としては、自由民主党熊本市議団（18名）、くまもと未来（10名）、市民連合（8名）、公明党熊本市議団（6名）、日本共産党熊本市議団（3名）、市政クラブ（1名）日本の教育を考える会（1名）、自由クラブ（1名）の8会派が結成されています。

会議は、年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は予算・決算議案及び関連議案を審査する予算決算委員会のほか、総務・企画教育市民・福祉子ども・環境水道・経済・都市整備の計7委員会があり、所管部門の事務を調査し、議案などの審査を行います。議会運営委員会は議会の運営に関する調査を行います。特別委員会は必要に応じて議会の議決により設置され、現在、総合的なまちづくり対策に関する特別委員会・中心市街地の活性化に関する特別委員会・財政運営のあり方に関する特別委員会・議会活性化特別委員会の各特別委員会があります。

歴代市議会副議長

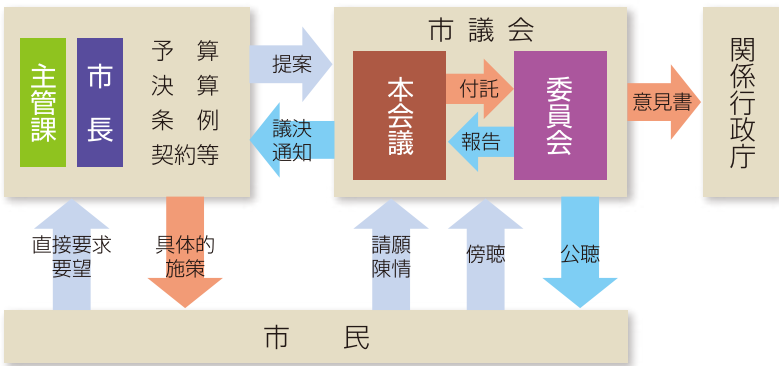
代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	下田一直	明治 22. 4. 26	明治 24. 1. 21
2	下田耕造	〃 24. 1. 22	〃 31. 5. 22
3	片山甚十郎	〃 31. 5. 23	〃 32. 2. 7
4	林定男	〃 32. 2. 8	〃 36. 2. 5
5	出田彦太郎	〃 36. 2. 6	〃 36. 2. 11
6	園部交雅	〃 36. 2. 12	〃 36. 5. 11
7	板垣正軌	〃 36. 5. 12	〃 37. 2. 12
8	有働格四郎	〃 37. 2. 13	〃 40.11. 4
9	板垣正軌	〃 40.11. 14	〃 42. 1. 27
10	河田正厳	〃 42. 1. 28	大正 2. 4. 30
11	井場熊喜	大正 2. 5. 10	〃 6. 4. 30
12	峡場謙	〃 6. 5. 15	〃 7. 3. 10
13	藤野乱	〃 7. 3. 11	〃 10. 9. 30
14	水上誠規	〃 10.10. 14	〃 14. 9. 30
15	河田誠規	〃 14.10. 12	昭和 4. 9. 30
16	平野龍起	昭和 4.10. 12	〃 9. 5. 7
17	橋本寿七	〃 9. 5. 8	〃 17. 5. 20
18	西郷一恵	〃 17. 6. 11	〃 22. 4. 29
19	大塚勇次郎	〃 22. 6. 9	〃 23. 6. 5
20	加川恒次	〃 23. 6. 5	〃 26. 4. 29
21	北利民	〃 26. 5. 15	〃 28. 9. 5
22	上野勉	〃 28. 9. 25	〃 30. 4. 30
23	森光吉	〃 30. 5. 21	〃 32.12. 28
24	吉村貞次	〃 34. 6. 12	〃 35. 3. 21
25	坂梨日露	〃 35. 3. 21	〃 37. 7. 9
26	吉村貞次	〃 37. 7. 9	〃 38. 4. 30
27	石井辰雄	〃 38. 5. 18	〃 41. 7. 4
28	吉村貞次	〃 41. 7. 4	〃 42. 4. 30
29	佐藤寿子	〃 42. 5. 20	〃 44. 3. 24
30	古川国雄	〃 44. 3. 25	〃 44. 6. 28
31	岩尾三恵	〃 44. 9. 13	〃 46. 4. 30
32	阪本富昇	〃 46. 5. 20	〃 48. 6. 6
33	荒木	〃 48. 6. 6	〃 50. 4. 30
34	藤山増美	〃 50. 5. 16	〃 52. 6. 4
35	矢野昭三	〃 52. 6. 4	〃 54. 4. 30
36	上妻重蔵	〃 54. 5. 14	〃 56.12. 8
37	田尻武男	〃 56.12. 8	〃 58. 4. 30
38	白石正	〃 58. 5. 18	〃 60. 9. 6
39	北口政義	〃 60. 9. 6	〃 61.12. 15
40	吉村本	〃 61.12. 15	〃 62. 4. 30
41	竹本裕人	〃 62. 5. 22	〃 63.12. 16
42	村上裕人	〃 63.12. 16	平成 2. 3. 26
43	佐藤公平	平成 2. 3. 26	〃 3. 4. 30
44	西田平統	〃 3. 5. 17	〃 5.12. 3
45	伊形寛治	〃 5.12. 3	〃 7. 4. 30
46	宮原正	〃 7. 5. 19	〃 9. 3. 27
47	中沢誠一	〃 9. 3. 27	〃 11. 4. 30
48	鈴木昌彦	〃 11. 5. 21	〃 13. 6. 8
49	岡田健士	〃 13. 6. 8	〃 14. 6. 18
50	奥田光弘	〃 14. 6. 18	〃 15. 4. 30
51	竹原孝昭	〃 15. 5. 23	〃 16. 9. 7
52	家入安弘	〃 16. 9. 7	〃 17.12. 20
53	田尻清輝	〃 17.12. 20	〃 19. 4. 30
54	磯道文	〃 19. 5. 24	〃 21. 3. 25
55	田中誠一	〃 21. 3. 25	〃 23. 4. 30
56	田尻将博	〃 23. 5. 23	〃 25. 3. 26
57	鈴木弘	〃 25. 3. 26	在 任 中

市議会議員（平成26年4月1日現在）

氏 名	会 派	氏 名	会 派
三島良之	自 民 党	白河部貞志	未 来
鈴木弘	公 明 党	上野美恵子	共 産 党
小佐井賀瑞宜	自 民 党	藤岡照代	公 明 党
寺本義勝	自 民 党	満永寿博	自 民 党
高本一臣	自 民 党	齊藤聡	自 民 党
西岡誠也	市民連合	津田征士郎	自 民 党
福永洋一	市民連合	坂田誠二	自 民 党
田上辰也	市民連合	藤山英美	未 来
浜田大介	公 明 党	田中誠一	未 来
井本正広	公 明 党	東すみよ	市民連合
大島澄雄	自 民 党	家入安弘	市民連合
原口亮志	自 民 党	田尻将博	市民連合
くつき信哉	自 民 党	竹原孝昭	自 民 党
松野明美	未 来	牛嶋弘	自 民 党
田中敦朗	未 来	税所史熙	自 民 党
重村和征	未 来	落水清弘	市政ク
上田芳裕	市民連合	江藤正行	自 民 党
那須円	共 産 党	下川寛	未 来
園川良二	公 明 党	田尻清輝	未 来
藤永弘	公 明 党	古川泰三	日本教育
紫垣正仁	自 民 党	北口和皇	自由ク
澤田昌作	自 民 党	益田牧子	共 産 党
倉重徹	自 民 党	田辺正信	市民連合
大石浩文	未 来		
田尻善裕	未 来		



市議会のしくみ



常任・特別委員会（平成26年4月1日現在）

名 称		定 数	所管事項
常任委員会	予算決算委員会	49名	予算及びこれに関連する事項 決算及びこれに関連する事項
	総務委員会	8名	総務局、財政局、会計総室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
	企画教育市民委員会	8名	企画振興局、都市政策研究所、教育委員会の所管に属する事項
	福祉子ども委員会	8名	健康福祉子ども局、病院局の所管に属する事項
	環境水道委員会	8名	環境局、上下水道局の所管に属する事項
	経済委員会	9名	農水商工局、観光文化交流局、農業委員会の所管に属する事項
	都市整備委員会	8名	都市建設局、交通局の所管に属する事項
議会運営委員会		13名	議会運営に関する調査
特別委員会	総合的なまちづくり対策に関する特別委員会	12名	安全で安心な市民生活を実現するための諸問題と災害に強いまちづくりや危機管理対策の強化に関する調査
	中心市街地の活性化に関する特別委員会	13名	中心市街地活性化及びこれに関する事業の諸問題と対策に関する調査
	財政運営のあり方に関する特別委員会	12名	大都市にふさわしい財政運営の健全化と財政基盤の強化を図るための諸問題の調査
	議会活性化特別委員会	10名	議会活性化のための諸改革に関する調査



熊本市資料

1 人口

2 財政

3 産業

4 保健福祉

5 生活・環境

6 安心・安全

7 教育・文化・観光

8 市民のくらし

9 主要観光地・施設等

10 熊本市のあゆみ

28

30

31

31

32

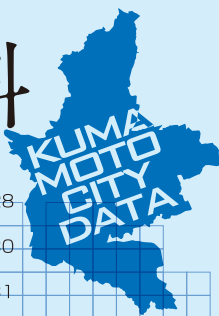
33

34

35

36

38



1 人口(国勢調査)

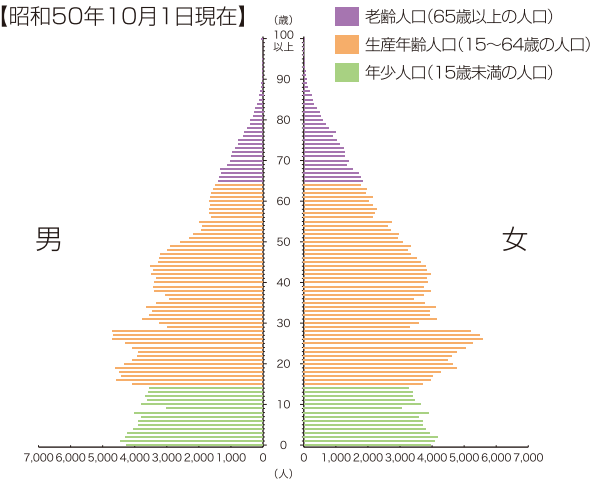
■国勢調査人口・世帯数の推移

年次		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
人口	総数	525,662	555,719	579,306	650,341	662,012	669,603	734,474
	男	251,011	265,037	275,424	310,118	314,455	316,048	344,291
	女	274,651	290,682	303,882	340,223	347,557	353,555	390,183
	年少人口(0～14歳)(%)	22.5	21.5	19.3	17.2	15.8	14.9	14.5
	生産年齢人口(15～64歳)(%)	68.7	68.7	68.9	68.9	67.9	66.4	64.5
	老年人口(65歳以上)(%)	8.8	9.9	11.4	13.8	16.3	18.5	21
世帯		180,239	194,486	211,207	246,700	260,672	270,530	302,413
1世帯当たり人員		2.9	2.9	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4

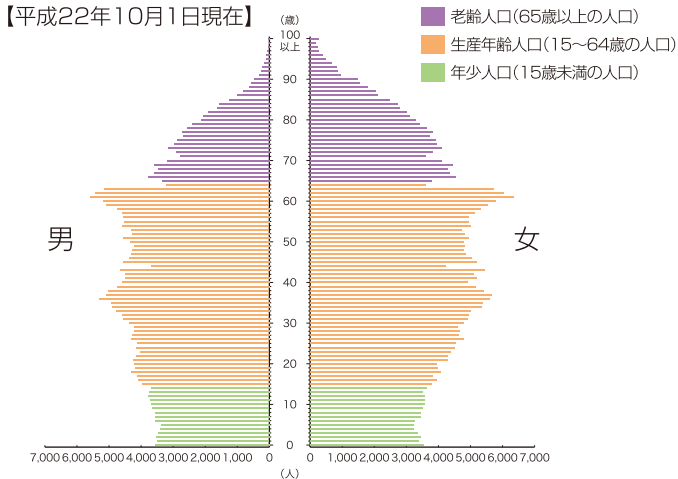
(注)平成3年2月1日に北部町、飽田町、天明町、河内町と合併。平成20年10月6日に富合町と合併。平成22年3月23日に城南町、植木町と合併。

■人口ピラミッド

【昭和50年10月1日現在】



【平成22年10月1日現在】



■行政区別人口3区分

行政区	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	高齢化率	(再掲)外国人
中央区	184,353	22,489	121,246	35,675	19.35%	1,897
東区	188,082	29,859	123,445	33,300	17.71%	793
西区	93,805	12,255	57,409	23,503	25.06%	393
南区	122,600	18,940	75,854	27,259	22.23%	263
北区	145,634	21,867	90,396	32,698	22.45%	407
全市合計	734,474	105,410	468,350	152,435	20.75%	3,753

■産業別就業者及び就業割合

行政区	総数 (産業大分類)	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能の産業	
		就業人口	就業割合	就業人口	就業割合	就業人口	就業割合	就業人口	就業割合
中央区	80,833	366	0.45%	8,839	10.93%	67,775	83.85%	3,853	20.98%
東区	86,785	1,163	1.34%	15,079	17.38%	66,615	76.76%	3,928	22.09%
西区	42,360	3,417	8.07%	5,988	14.14%	30,656	72.37%	2,299	18.42%
南区	57,172	3,561	6.23%	10,064	17.60%	40,471	70.79%	3,076	18.59%
北区	67,067	3,773	5.63%	13,433	20.03%	46,448	69.26%	3,413	19.65%
全市合計	334,217	12,280	3.67%	53,403	15.98%	251,965	75.39%	16,569	20.17%

■労働力状態

行 政 区	総数 (労働力状態)	労働力 人口	就業者					完全 失業者	非労働力人口			不詳	
			(就業者) 主に仕事	(就業者) 家事の ほか仕事	(就業者) 通学の かわり仕事	(就業者) 休業者	家事		通学	その他			
中 央 区	156,921	86,601	80,833	66,705	8,952	3,374	1,802	5,768	53,547	21,446	14,214	17,887	16,773
東 区	156,745	92,496	86,785	72,740	10,480	1,668	1,897	5,711	52,658	23,542	11,018	18,098	11,591
西 区	80,912	45,503	42,360	35,138	5,300	890	1,032	3,143	28,855	11,200	5,853	11,802	6,554
南 区	103,113	60,728	57,172	48,022	7,096	702	1,352	3,556	34,717	14,359	5,852	14,506	7,668
北 区	123,094	71,490	67,067	56,599	8,007	912	1,549	4,363	42,543	18,287	7,495	16,761	9,121
全市合計	620,785	356,758	334,217	279,204	39,835	7,546	7,632	22,541	212,320	88,834	44,432	79,054	51,707

■夜間人口、流入・流出人口および昼間人口の推移

年次	夜間人口(国勢調査人口)			流入人口		流出人口		昼間人口			夜間人口対昼間人口比 D/A×100
	実数A	増減数	増減率	実数B	増減率	実数C	増減率	実数D=A+B+C	増減数	増減率	
昭和60年	601,367	32,547	5.7%	56,296	8.3%	18,469	37.5%	639,194	31,804	5.2%	106.3 %
平成2年	626,727	25,360	4.2%	66,215	17.6%	23,735	28.5 %	669,207	30,013	4.7%	106.8 %
7年	649,638	22,911	3.7%	74,450	12.4%	31,200	31.5 %	692,888	23,681	3.5%	106.7 %
12年	661,615	11,977	1.8%	76,018	2.1%	35,977	15.3 %	701,656	8,768	1.3%	106.1%
17年	668,513	6,898	1.0%	73,928	△ 2.7%	44,352	23.3%	698,089	△ 3,567	△ 0.5%	104.4 %
22年	734,474	65,961	9.9%	70,620	△ 4.5%	57,789	30.3 %	747,305	49,216	7.1%	101.7 %

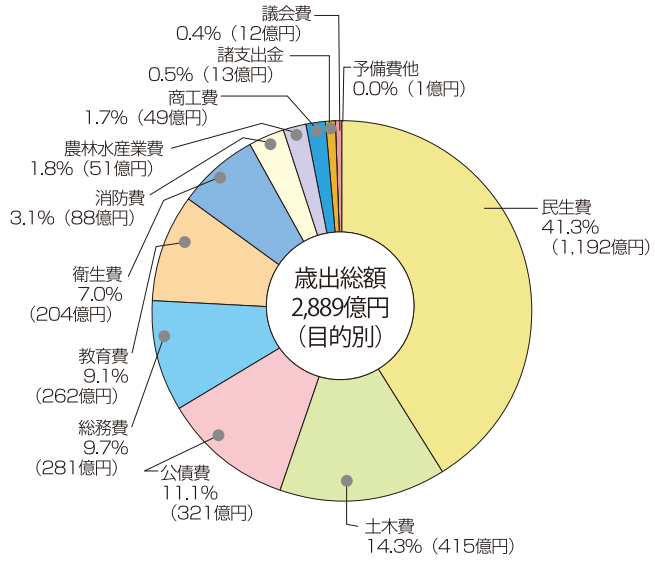
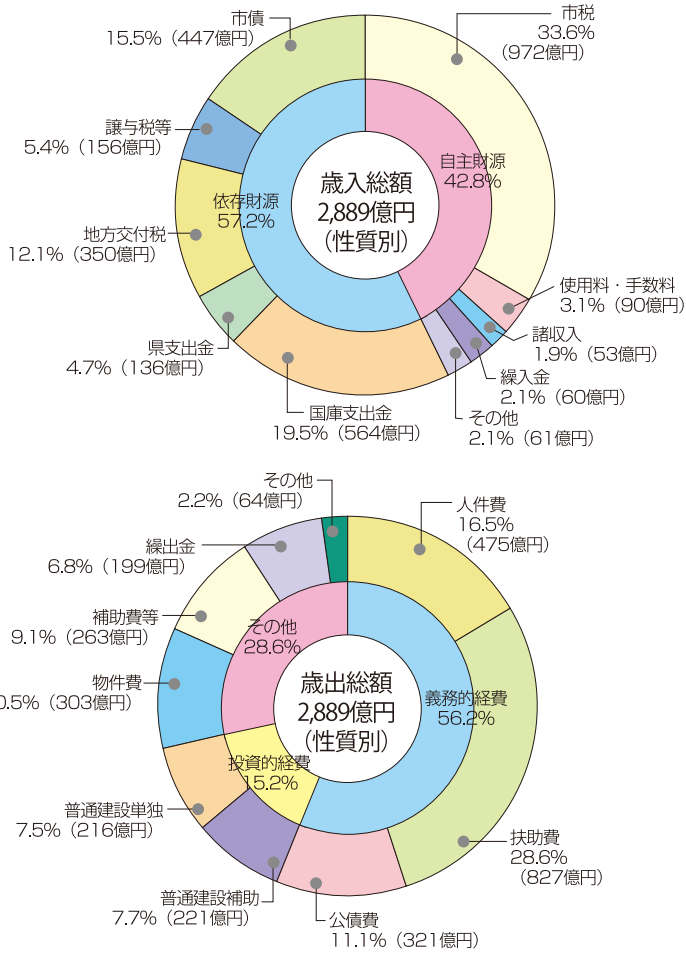
(注) 昭和60年から平成2年までは、流入・流出人口には組替の都合上、15歳未満を含まない。
昭和60年から平成2年までは、年齢不詳を含み、平成7年から含まない。

2 財政

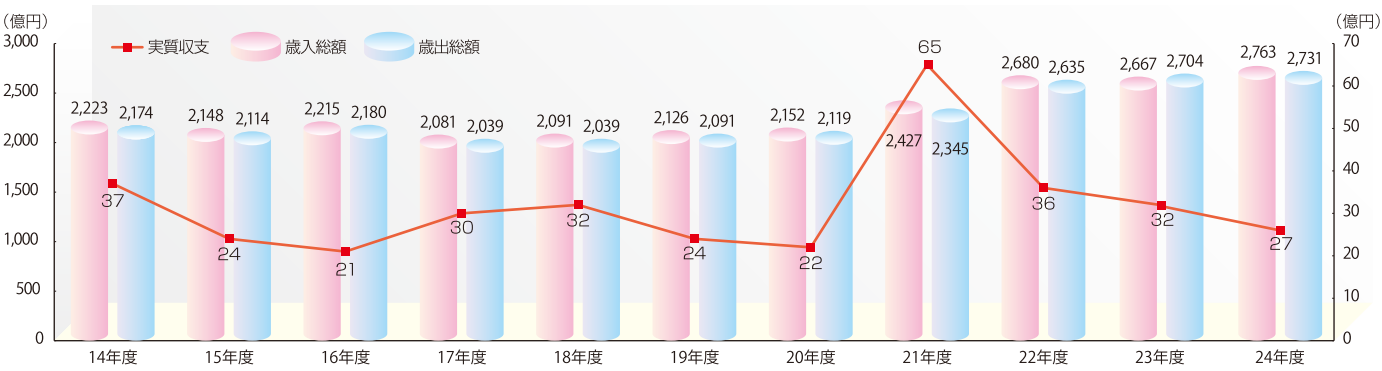
■当初予算の比較

区 分	平成26年度	平成25年度	比較	伸び率
一 般 会 計	2,889	2,854	35	1.2%
特 別 会 計	1,975	1,965	10	0.5%
企 業 会 計	903	818	85	10.4%
総 計	5,767	5,637	130	2.3%

■平成26年度一般会計当初予算【歳入・歳出】

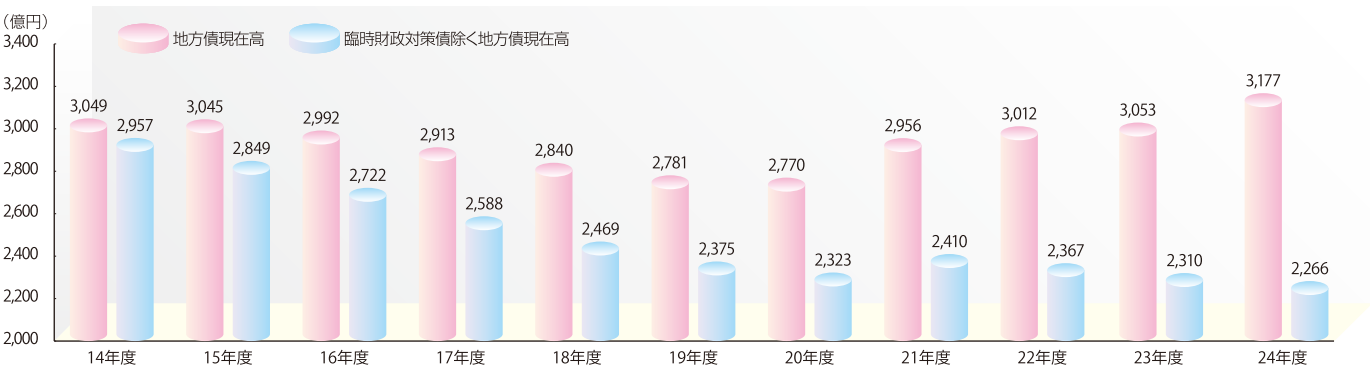


■一般会計歳入・歳出決算額の推移



実質収支は、地方公共団体の財政運営が良好かどうか判断する重要な指標の一つですが、平成21年度を除くここ数年は、20～30億円の黒字決算を続けています。
なお、平成21年度は、2町合併影響等により、大幅な実質収支の増となっています。
※実質収支＝歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

■普通会計市債現在高の推移



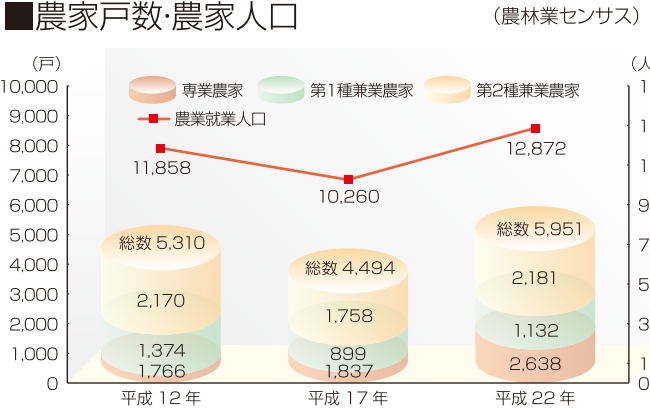
財政の中期見通しの策定などによる計画的な財政運営により、市債残高は減少を続けてきましたが、平成21年度は2町合併による引継ぎ等により、平成22年度は臨時財政対策債の増加により、市債残高が増加していますが、臨時財政対策債を除く市債残高は減少しています。

3 産業

■産業(大分類)別事業所数・従業者数(民営)

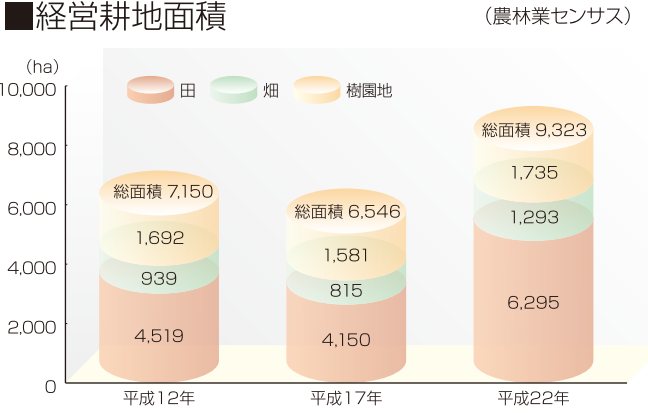
	総 数	農林漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)
事業所数	32,036	117	6	2,874	1,245	13	441	659	9,333	708	2,399	1,789	4,046	3,034	987	2,040	203	2,142
従業者数	317,766	1,500	31	23,242	22,979	835	7,328	14,458	80,242	10,919	9,187	10,336	34,022	14,976	14,445	44,716	2,585	25,965

■農家戸数・農家人口



※平成20年10月に富合町、平成22年3月に城南町、植木町との合併をそれぞれ行っている。

■経営耕地面積



※平成20年10月に富合町、平成22年3月に城南町、植木町との合併をそれぞれ行っている。

4 保健福祉

■医療施設

年度	各年10月1日現在									
	病院									
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数
平成22年度	97	17	80	43	15,713	3,307	12	27	8,422	3,945
平成23年度	96	17	79	42	15,674	3,307	12	27	8,517	3,811
平成24年度	94	16	78	40	15,540	3,255	12	27	8,592	3,654

年度	一般診療所				歯科診療所			
	施設数			療養病床を有する診療所(再掲)	施設数			病床数
	総数	有床	無床		総数	有床	無床	
平成22年度	621	142	479	22	2,286	250	380	6
平成23年度	625	140	485	21	2,229	234	386	6
平成24年度	633	136	497	19	2,153	201	391	6

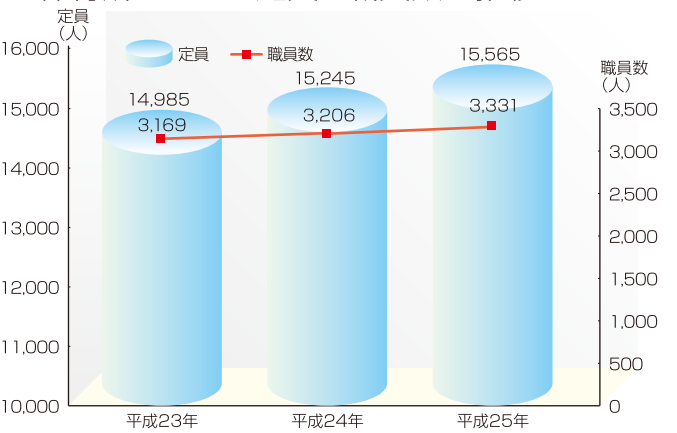
※一般病床には、旧その他の病床(旧療養型病床群を除く)を含む。療養病床には、旧療養型病床群を含む。 ※休止中を除く。
資料 市地域医療課

■保育所における定員と職員数の推移

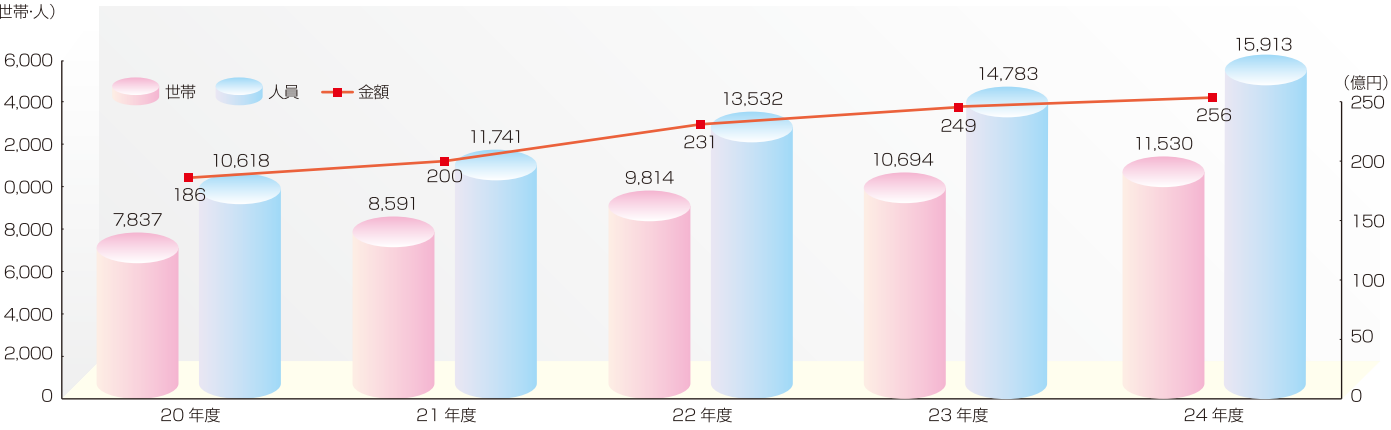
■保育所の状況

年次	保育所数	職員数	定員	年齢別入所者数							
				総数	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
平成23年	153	3,169	14,985	15,769	3,081	3,171	3,074	2,860	2,564	1,019	
平成24年	153	3,206	15,245	16,186	3,235	3,267	3,157	2,928	2,654	945	
平成25年	154	3,331	15,565	16,519	3,327	3,310	3,194	3,029	2,662	997	
市立	23	256	2,035	2,058	434	433	407	388	311	85	
私立	131	3,075	13,530	14,461	2,893	2,877	2,787	2,641	2,351	912	

※数字に広域入所委託は含まれない。
資料 市保育幼稚園課



生活保護状況



世帯及び人員は年度平均、金額は年度計を示す。
資料 市保護管理室

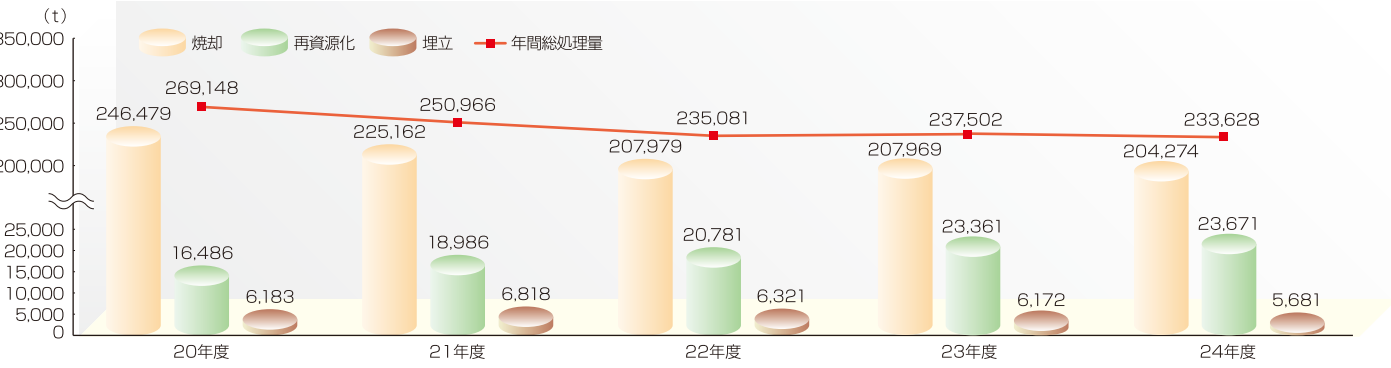
生活・環境

熊本市消費者物価指数

年次	総合	食料	住居	整備修繕・維持	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	エネルギー	教育関係費	教養娯楽関係費	情報通信関係費
平成20年	101.0	97.9	99.1	99.6	102.8	107.9	101.3	98.8	103.2	111.9	105.2	98.5	108.0	110.1	104.8	100.7
平成21年	100.3	99.1	99.7	100.2	100.9	104.9	99.0	99.8	98.6	114.0	102.1	98.5	97.7	112.1	102.1	100.4
平成22年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成23年	99.5	99.4	99.7	99.9	102.3	92.6	99.0	100.1	101.3	97.5	96.2	103.7	105.2	98.0	96.5	99.9
平成24年	99.1	98.9	99.7	100.6	104.8	87.1	98.5	99.4	101.3	98.3	94.2	103.3	107.8	99.0	94.4	99.2

資料 総務省統計局「消費者物価指数年報」

ごみ処理量の推移



※埋立処理量には焼却灰量は含まない。
資料 市廃棄物計画課

公園数と面積

年度	総数	
	園数	面積
平成20年度	807	592.16
平成21年度	883	642.84
平成22年度	892	642.13
平成23年度	908	654.66
平成24年度	931	661.61

※まちの広場は総数に含まない。
資料 市公園課

下水道施設及び普及状況

年度	市域面積	処理区域面積	処理区域内人口(A)	普及率(%) (A)/行政	処理下水量 (m³)	水洗化戸数
平成22年度	38,953	10,787	620,130	85.1	77,673,525	235,450
平成23年度	38,954	10,919	628,728	86.2	79,968,322	242,619
平成24年度	38,954	11,106	633,038	86.5	78,127,112	247,496

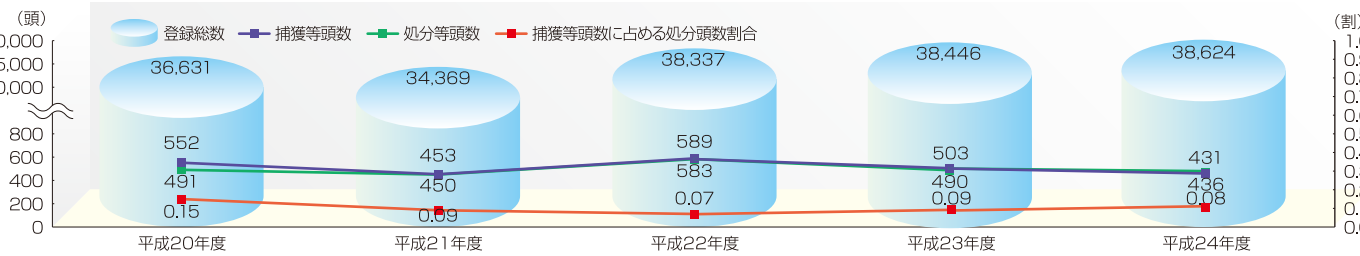
資料 市上下水道局

上水道事業の概要

年度	給水世帯 (世帯)	計画給水人口 (人)	給水区域内人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)	配水量			年間有収水量 (1000m³)	有収率 (%)	水源 (箇所)
						年間(1000m³)	1日最大(1000m³)	1日最小(1000m³)			
平成20年度	276,486	681,000	677,375	664,244	98.1	79,666	244	172	72,208	90.6	36
平成21年度	284,258	708,033	714,645	680,128	95.2	79,118	238	174	72,091	91.1	58
平成22年度	285,479	708,033	719,036	685,152	95.3	80,446	242	179	73,298	91.1	58
平成23年度	288,392	703,000	732,949	688,916	94.0	80,101	242	176	72,797	90.9	57
平成24年度	292,921	703,000	735,818	692,456	94.1	79,959	239	181	72,319	90.4	52

資料 市上下水道局

犬の登録・捕獲及び処分等頭数



資料 市動物愛護センター

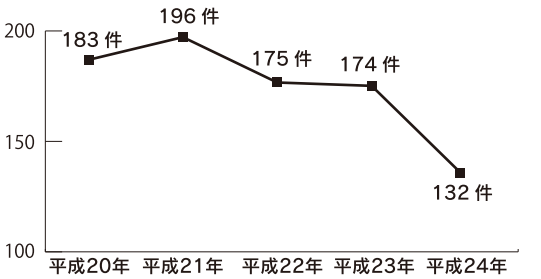
安心・安全

原因別火災件数

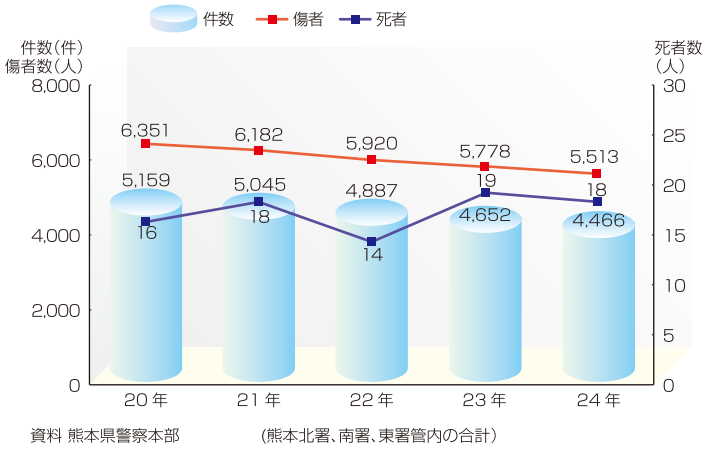
原因	年次	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
		件数	件数	件数	件数	件数
合	計	183	196	175	174	132
た	ば　　こ	16	31	22	17	15
た	き　　火	4	14	7	14	8
火	遊　　び	7	12	8	8	5
こ　　ん　　ろ	こ　　ん　　ろ	11	12	11	19	6
	天　　ぷ　　ら　　油	20	21	18	14	14
放　火　（　疑　含　）		35	44	28	15	21
風　　呂　　か　　ま　　ど		1	1	3	—	1
ス　　ト　　ー　　ブ		5	4	12	6	7
マ　　ッ　　チ　　・　　ラ　　イ　　タ　　ー		8	2	2	2	6
配　　線　　器　　具		7	5	4	6	4
電　　灯　　電　　話　　配　　線		9	9	10	17	2
電　　気　　機　　器		4	3	3	4	3
不	明	7	7	9	12	9
そ	の　　他	49	31	38	40	31

資料 市消防局

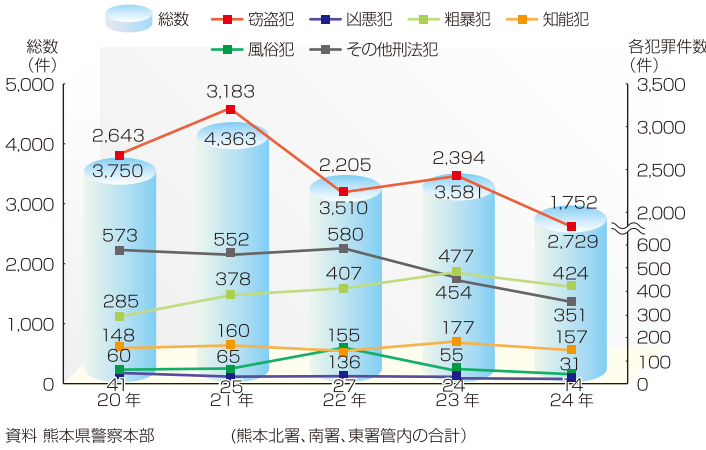
火災件数の推移



交通事故の状況



刑法犯罪検挙件数



7 教育・文化・観光

学校(園)数及び児童生徒(園児)数の推移

年次	幼稚園		小学校		中学校		高校		短期大学		大学		専修・各種学校	
	学校数	園児数	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数
平成23年	58	9,569	94	42,582	52	22,473	27	25,870	1	664	8	24,594	44	9,162
24年	58	9,689	94	42,045	53	22,442	27	26,064	1	621	8	26,987	43	8,983
25年	58	9,654	95	41,618	53	22,603	27	26,049	1	602	8	26,509	44	9,156

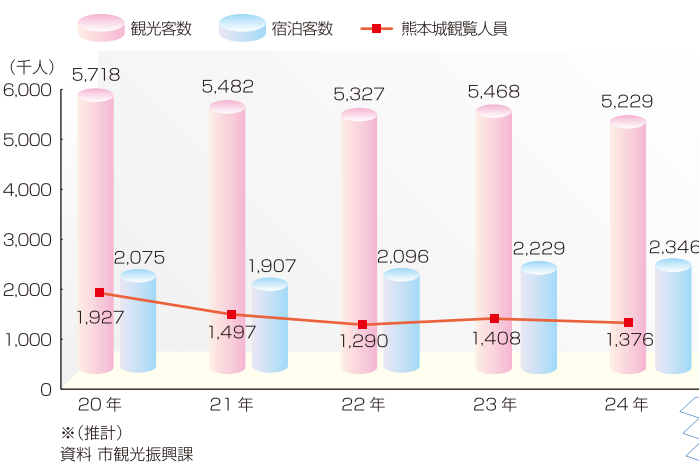
資料 県統計調査課 教育委員会

市立図書館蔵書冊数

年度	総数	総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	語学	文学	小説	絵本	その他
24年度末	1,316,527	31,819	45,330	105,294	146,327	91,784	97,575	39,881	101,252	20,139	214,853	240,925	155,315	26,033

資料 市立図書館

観光客数



8 市民の暮らし

(人口関係は平成25年分、予算は平成26年度当初予算額、その他は平成24年または24年度分の数値)

世帯人口

1世帯当り **2.4人**



人口密度

1km²に **1,898人**



乗用自動車

1世帯に **1.7台**



出生

1日につき **19.9人**



死亡

1日につき **17.7人**



転入

1日につき **120.1人**



転出

1日につき **119.7人**



結婚

1日につき **12.6組**



離婚

1日につき **4.1組**



犯罪

1日につき **18.7件**



火災

1日に **0.4件**



交通事故

1日に **12.2件**



酒

1人1日 **0.04ℓ**



市職員

市民**115人**に **1人**



消防職員

市民**1,102人**に**1人**



水道使用量

1日1人あたり **229ℓ**



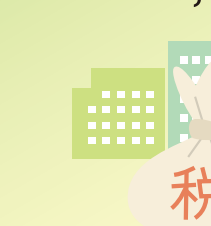
ごみ収集量

1日に **640.2トン**



市税

市民1人当り **127,910円**



市の予算

市民1人当り **390,661円**



9 主要観光地・施設等



中央区

名称	所在地
中央区	
1 熊本城	本丸
2 桜の馬場 城彩苑	二の丸
3 熊本県立美術館(本館)	二の丸
4 熊本県立美術館(分館)	千葉城町
5 熊本県伝統工芸館	千葉城町
6 熊本市現代美術館	上通町
7 熊本市熊本博物館	古京町
8 旧細川刑部邸	古京町
9 監物台樹木園	二の丸
10 小泉八雲熊本旧居	安政町
11 夏目漱石内坪井旧居	内坪井町
12 徳富記念園	大江4丁目
13 五高記念館	黒髪2丁目
14 リデル・ライト両女史記念館	黒髪5丁目
15 神風連資料館	黒髪5丁目
16 立田自然公園	黒髪4丁目
17 後藤是山記念館	水前寺2丁目
18 水前寺成趣園	水前寺公園
19 熊本洋学校教師ジェーンズ邸	水前寺公園
20 熊本近代文学館	出水2丁目
21 水前寺江津湖公園	出水2丁目 神水本町他 横手2丁目
22 北岡自然公園	
北 区	
23 武蔵塚公園	龍田弓削1丁目
24 熊本国際民芸館	龍田1丁目
25 熊本市水の科学館	八景水谷1丁目
26 御馬下の角小屋	四方寄町
27 フードパル熊本	貴町
28 植木温泉	植木町米塚
29 宮原温泉	植木町宮原
30 種田山頭火・味取観音堂	植木町味取
31 田原坂公園・田原坂資料館	植木町豊岡
32 豊岡のめがね橋	植木町豊岡
33 小野泉水公園	植木町小野
西 区	
34 本妙寺	花園4丁目
35 島田美術館	島崎4丁目
36 雲巖禅寺・五百羅漢	松尾町平山
37 峠の茶屋公園	河内町岳
38 金峰森の駅 みちくさ館	河内町岳
39 くまもと森都心プラザ	春日1丁目
東 区	
40 熊本市動植物園	健軍5丁目
41 横井小楠記念館	沼山津1丁目
南 区	
42 くまもと工芸会館	川尻1丁目
43 雁回山長寿寺 木原不動尊	富合町木原
44 六殿神社	富合町木原
45 雁回山自然公園	富合町木原
46 熊本市塚原歴史民俗資料館	城南町塚原
47 塚原古墳公園	城南町塚原

北 区



西 区



東 区



南 区



熊本市のあゆみ

西暦	年号	熊本市の動き	世の中の動き
明治			
1870	3年	細川護久熊本藩知事となる 古城に医学校が開校	
1871	4年	廃藩置県により熊本県が設置 鎮西鎮台(九州及び中国西部を管轄)が設置 熊本洋学校が開校	太陽暦を採用
1872	5年	明治天皇の熊本行幸	白川県を熊本県と改称
1877	10年	西南戦争(市街地の大半が兵火により焼失、熊本城天守閣炎上)	
1887	20年	第五高等中学校(九州1校)の設置	東京電灯会社初めて点灯
1888	21年	熊本鎮台 第六師団と改称	
1889	22年	市町村制が施行され熊本市が誕生 第一回熊本市会議員選挙 現在の白川公園前に市役所が開庁	大日本帝国憲法の公布 熊本大地震
1891	24年	高瀬・熊本市春日間の九州鉄道が開通 熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がともる ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)第五高等中学校に着任	大津事件
1892	25年	塘林虎五郎が貧児寮(大江学園)を設立	
1893	26年	内村鑑三、熊本英学校教師として着任	
1894	27年	第五高等中学校は第五高等学校と改称	日清戦争始まる
1895	28年	ハンナ・リデル女史が回春病院設立	
1896	29年	夏目漱石が第五高等学校に着任	
1898	31年	ジョン・メリー・コール神父がらい救済の待労院設立 市立避病院設立(後の白川病院)	治安警察法公布
1900	33年	白川大水害、明午・安巳・長六橋流失	
1901	34年	熊本電話交換局船場町に開設 電話交換業務開始 第1回熊本市統計書を発行	1904 日露戦争始まる
1906	39年	第五高等学校工学部が独立し、熊本高等工業学校と改称	
1907	40年	安巳橋・水前寺間に軽便鉄道開業	
1909	42年	九州縦貫の幹線鉄道(鹿児島線、門司・鹿児島間)実現	
1911	44年	市立実科高等女学校開校 菊池軌道株式会社が上熊本・広町間開業	ストックホルム五輪に日本初参加
大正			
1912	元年	熊本軌道が樺崎・百貫石間開通	阿蘇大爆発
1913	2年	熊本市初の工業統計調査を実施 肥後相撲館開館	
1920	9年	第1回国勢調査 市人口70,338人、戸数13,817戸	1914 第一次世界大戦 国際連盟発足
1921	10年	大熊本市誕生 (11町村合併黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山)	
1922	11年	市立実科高等女学校が市立高等女学校と改称	
1923	12年	手取本町に市役所新庁舎落成	関東大震災
1924	13年	市営電車開通(開通に伴い大甲橋を架設) 市上水道通水開始 歩兵第二十三連隊の留守隊、渡鹿に移転	市三大事業
1925	14年	市三大事業記念国産共進会開催(入場者133万人) 飽託郡出水村が市と合併	
昭和			
1927	2年	長六橋開通 市営乗合自動車(市営バス)が7台で営業を開始	国有鉄道鹿児島本線全通
1928	3年	熊本放送局JOGK開局(ラジオ初放送) 水前寺公設グラウンド開場(陸上競技場・野球場)	
1929	4年	熊本動物園が水前寺公園内に開園	世界恐慌始まる
1930	5年	熊本市歌を制定 花畑町に市勤業館が落成、開館 市公会堂新館が落成 白坪村を市に編入	
1931	6年	飽託郡画図村が市と合併、画図町となる	満州事变始まる
1932	7年	熊本城宇土櫓国宝に指定	
1933	8年	新興熊本大博覧会を開催	日本、国際連盟脱退
1935	10年	飽託郡健軍村が市と合併	
1936	11年		ヘレン・ケラー来熊
1939	14年	飽託郡清水村が市と合併	1937 日中戦争始まる



第五高等学校



旧熊本駅



軽便鉄道



旧市役所庁舎



長六橋



熊本動物園

西暦	年号	熊本市の動き	世の中の動き
1940	15年	飽託郡川尻町、日吉村、力合村を市に編入	1941 太平洋戦争始まる
1942	17年	九州日日新聞と九州新聞が統合され熊本日日新聞発足 健軍町に三菱重工業熊本航空機製作所設立	
1944	19年	市電気局が市交通局と改称	
1945	20年	アメリカ軍が熊本市を空襲(中心市街地の大半が焼失)	太平洋戦争終結
1946	21年	市立民生病院発足	日本国憲法公布
1948	23年	市消防本部設置 市立母子寮を設置 熊本中央児童相談所が古城町に設置	1947 地方自治法公布 婦人に初の参政権 大韓民国誕生
1949	24年	市立高等女学校が市立高等学校と改称 「火の国まつり」開始 市立実務員養成所が西山中学校内に開校 市立熊本保健所を上林に新設 市立民生病院は市立熊本市民病院となる	1950 朝鮮戦争起こる
1952	27年	市立博物館開館	1951 サンフランシスコ講和条約調印
1953	28年	飽託郡田迎村、御幸村を市に編入 6.26熊本大水害発生 白川の氾濫で熊本市中心に大被害 飽託郡池上村、高橋村、城山村を市に編入 熊本初の民間放送 ラジオ熊本開局	NHKテレビ放送開始
1954	29年	上益城郡秋津村を市に編入 市電開通30年記念「熊本交通観光大博覧会」開催	
1955	30年	飽託郡松尾村を市に編入	1956 日ソ国交回復
1957	32年	市立高等学校に商業科を併設 飽託郡小島町、龍田村を市に編入 大水害発生 井芹川・坪井川氾濫 金峰山周辺で山津波	5000円札、100円硬貨の発行 東京都人口が世界一に 阿蘇中岳大爆発
1958	33年	飽託郡中島村を市に編入	1万円札発行、国民皆保険と拠出制国民年金が発足
1959	34年	市立高等学校商業科が分離独立し、市立商業高等学校となる 市立実務員養成所が市立実務商業学校と改称	NHKカラーテレビ放送熊本で開始
1960	35年	健軍町に熊本空港開港 熊本城天守閣再建、落成 第15回国体夏季大会を開催	
1962	37年	天守閣再建記念「羅進熊本大博覧会くまもと博」開催	
1964	39年	市第一次総合計画策定	東京オリンピック開催
1968	43年	市民会館開館	
1969	44年	熊本交通センター開所 江津湖畔に水辺動物園が開園、熊本動物博覧会を開催	
1970	45年	飽託郡託麻村を市に編入 勤労青少年ホームが新屋敷に落成	大阪で日本万国博覧会開催
1971	46年	九州縦貫自動車道(熊本ー植木間)開通	
1972	47年	市議会が「森の都宣言」決議	沖縄返還協定調印
1975	50年	金峰山少年自然の家が開所	1972 札幌で冬季オリンピック開催
1976	51年	市議会が「地下水保全都市宣言」決議	
1979	54年	市立実務商業学校が市立実務商業専門学校と改称 市が「健康都市」宣言 中国・桂林市と友好都市提携調印	
1981	56年	産業文化会館が開館 新市庁舎建設完成 幸田市民センター開所、北部保健センター開所、横井小楠記念館開所	
1982	57年	四時軒復元(横井小楠家塾)	
1986	61年	総合体育館、青年会館開館	ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故
1987	62年	米国・サンアントニオ市と姉妹都市提携調印	
1988	63年	大江市民センター開所	
1989	元年	市制施行100周年記念行事「熊本百彩」開催 流通情報会館開館	消費税制度スタート ベルリンの壁崩壊
1990	2年	「総合婦人会館・カルチャーセンター」開館 「水資源国際会議」を開催 「水の科学館」開館	



市勤業館



市消防本部



熊本博物館(第1館)



6.26 熊本大水害



熊本城



新市庁舎



市制100周年

10 熊本市のあゆみ

西暦	年号	熊本市の動き	世の中の動き
1991	3年	熊本市と飽託郡4町(北部・河内・飽田・天明)が合併 南部スポーツセンター開館 水辺動物園と都市緑化植物園が一体化　動植物園として開園	台風19号による大災害
1992	4年	独国・ハイデルベルク市との友好都市締結の協定書草案に合意	日本人初の宇宙飛行士、毛利 衛
1993	5年	大名屋敷・旧細川刑部邸移築・復元 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕 93ゆうあいピック熊本大会開催	アメリカ、スペースシャトルエンターで宇宙へ
1994	6年	国際交流会館開館 「市民こども憲章」制定 福井市と姉妹都市締結	日本人宇宙飛行士、向井千秋 アメリカ、スペースシャトル・コロビアで宇宙へ
1995	7年	市立実務商業専門学校が市立総合ビジネス専門学校と改称 子ども文化会館開館、健軍文化ホール開館 環境総合センター完成 市が「平和都市」宣言 市が「環境保全都市」宣言	阪神・淡路大震災 地下鉄猛毒サリンガス事件
1996	8年	中核市に移行 熊本市優待証(さくらカード)運用開始 第1回くまもとお城まつり開幕	
1997	9年	97男子世界ハンドボール選手権大会開催 国内初の超低床電車運行開始	
1998	10年	市総合屋内プール「アクアドームくまもと」完成 「中核市サミット'98in熊本」開催	長野オリンピック開催
1999	11年	市議会が「スポーツ都市宣言」決議 第54回国体「くまもとと未来国体」開催 第35回全国身体障害者スポーツ大会「ハートフルくまもと大会」開催 第20回記念国際・全国マスターズ陸上競技選手権熊本県大会を開催 「ひのくに新世紀総体」開催	情報公開法成立
2000	12年	市立商業高等学校が市立千原台高等学校と改称	
2001	13年	市立高等学校が市立必由館高等学校と改称	アメリカ同時多発テロ事件
2002	14年	市現代美術館開館 国際環境都市会議くまもと2002開催	
2003	15年	託麻スポーツセンター体育館開館 市議会が「観光立市くまもと」都市宣言決議 アジア太平洋都市サミット第5回実務者会議開催	イラク戦争勃発 個人情報保護法成立
2004	16年	市政情報ブラザ開設 個人情報の保護に関する条例施行	尼崎市でJR福知山線脱線事故
2006	18年	「熊本市圏及び政令指定都市についての研究会」設置 世界女性スポーツ会議くまもと開催	
2007	19年	熊本城築城400年 熊本市中心市街地活性化基本計画認定	
2008	20年	「ウェルバルくまもと」開館 熊本城本丸御殿復元完了 熊本市と富合町が合併	
2009	21年	家庭ごみの有料化開始	裁判員制度始まる
2010	22年	熊本市と城南町、植木町が合併	九州南部で口蹄疫の感染広がる
2011	23年	九州新幹線全線開業 「桜の馬場城彩苑」開館 「くまもと森都心プラザ」開館	東日本大震災、福島第一原子力発電所事故
2012	24年	熊本上海事務所開設 第1回熊本城マラソン開催 政令指定都市となる	九州北部豪雨
2013	25年	仏・エクスアンプロヴァンス市交流都市協定調印 国連“生命の水”(Water for Life)最優秀賞受賞 中国・蘇州国家高新区交流都市決定調印 台湾・高雄市国際交流促進覚書締結 アジア太平洋都市サミット開催 全国豊かな海づくり大会	

名誉市民



徳富 蘇峰氏
(本名:猪一郎)
昭和30年1月1日表彰

明治一昭和期の新聞人・歴史家。熊本洋学校・同志社に学び上京、帰郷して自由民権運動に参加し、大江義塾を開設。明治20年民友社を設立「国民之友」、同23年「国民新聞」を発行。「近世日本国民史」100巻を完結。生涯300冊の著作を残した。明治8年1月25日生まれ、昭和32年11月2日死去、94歳。



高橋 守雄氏
昭和30年1月1日表彰

第7代熊本市長として、歩兵第23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂、市の近代化、発展繁栄に尽くした。また、教育者として東洋語学専門学校校長、熊本商科大学長を歴任、郷土教育の振興育成に努力した。明治16年1月1日生まれ、昭和32年5月6日死去、74歳。



細川 護立氏
昭和35年4月1日表彰

旧肥後藩主細川家16代当主。有斐学堂舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身者の育成援護に尽くした。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献した。明治16年10月21日生まれ、昭和45年11月18日死去、87歳。



福田 令寿氏
昭和35年4月1日表彰

医師、教育者、社会事業家。熊本英学校で海老名弾正らに学び受洗。エジンバラ医学部卒。産婦人科病院開業の傍ら無料診療所紫苑会治療所を創立。県医師会長、公選の県教育委員長、大江高校校長、県社会福祉協議会会長、熊本YMCA理事長、県原水禁理事長など歴任。キリスト教信仰に基づく生涯を貫いた。明治5年12月7日生まれ、昭和48年8月7日死去、100歳。



宇野 哲人氏
昭和44年10月1日表彰

漢学者。東京大学名誉教授。東洋文化学院院長、実践女子大学学長、東方学会会長を歴任。清国(中国)に留学して支那学を、ドイツで西洋哲学を学んだ。西洋哲学の方法を用いた中国哲学の叙述は一世を風靡した。明治8年11月15日生まれ、昭和49年2月19日死去、98歳。



堅山 南風氏
昭和44年10月1日表彰

日本画家。明治42年、22歳のとき上京。大正2年第7回文展に「霜月頃」が初入賞。その後、横山大観に師事した。昭和13年、文展審査員。戦後は文化勲章受章など日本画壇の重鎮となる。代表作に日光輪王寺薬師堂天井画「鳴竜図」、熊本市市民会館縦帳「火の国讃舞」などがある。明治20年9月12日生まれ、昭和55年12月30日死去、93歳。



後藤 是山氏
(本名:祐太郎)
昭和54年10月1日表彰

新聞人、俳人。九州日日新聞社入社後、国民新聞社に留学、徳富蘇峰の薫陶を受けた。帰熊後九州日日新聞社の主筆、編集長として熊本の文化振興に貢献。昭和2年、俳誌「かはからし」(のち「東火」)を創刊主宰した。著書に「肥後の動皇」、編書に「肥後国誌」がある。明治19年6月8日生まれ、昭和61年6月4日死去、99歳。



中村 汀女氏
(本名:破魔)
昭和54年10月1日表彰

高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にくまもとを愛する心を底流にした“汀女俳句”は、句にくまもとの人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献した。「ホトギス」同人、「風花」を創刊主宰した。明治33年4月11日生まれ、昭和63年9月20日死去、88歳。



安永 路子氏
平成21年10月1日表彰

宮中歌会始詠進歌選者を務めるなど日本を代表する女流歌人。平成3年には歌壇の最高賞である逍空賞を受賞。また、書家としても顕著な功績を収める。熊本県教育委員会委員長、熊本県文化協会会長などの要職を歴任、本市の教育・文化の発展に多大な功績。勲四等瑞宝章受章。くまもと県民文化賞受賞。熊本県近代文化功労者。大正9年2月19日生まれ、平成24年3月17日死去、92歳。

(旧城南町)



上塚 周平氏
昭和50年10月17日表彰

「ブラジル移民の父」と呼ばれ、明治41年に第1回移民船「笠戸丸」の監督としてブラジルに渡り、ブラジルにおける日系社会の確固たる基盤を築いた。また、その功績から、ブラジルのサンパウロ州には氏の名前を付けられた道路や公園、橋があるほか、遺徳を称える記念碑なども残されている。明治9年7月12日生まれ、昭和10年7月6日死去、58歳。



上塚 司氏
昭和53年3月23日表彰

大蔵大臣秘書官、大蔵政務次官、農商務大臣、商工大臣などの要職を務め、この間、アマゾン開発に全力を傾け、ブラジル移民の道を開いた。その後、日伯中央協会の理事や名誉顧問を歴任。ブラジル大統領から最高勲章を授与されるなど、日伯国交樹立等に対する功績が高く評価されている。明治23年5月1日生まれ、昭和53年10月22日死去、88歳。



林田 正治氏
昭和53年3月23日表彰

台湾の台南州内務部長、澎湖庁長、新竹州知事を務めた後、衆議院議員、第16代熊本市長を経て参議院議員となり、北海道開発政務次官、地方行政委員長等を歴任。その業績は高く評価されている。明治25年8月3日生まれ、昭和54年12月14日死去、87歳。



小林 久雄氏
平成元年9月25日表彰

熊本県医師会副会長、下益城郡医師会会長などを歴任し、健康保険の普及等に尽力した後、旧城南町の初代町長に就任。若くから人類学、考古学に関心があり、生涯をかけて研究された資料は「小林コレクション」と呼ばれ、約2万点の遺物が塚原歴史民俗資料館に寄贈されており、国指定重要文化財の「台付舟形土器」など、一部は現在も展示されている。明治28年6月4日生まれ、昭和36年8月26日死去、66歳。



東家 嘉幸氏
平成12年3月22日表彰

衆議院議員として建設政務次官や衆議院建設常任委員会委員長などの要職を歴任。平成3年には国土庁長官に就任した。この間、国や熊本県、旧城南町の発展のために活躍し、数々の功績を残している。昭和2年10月1日生まれ、平成18年1月26日死去、78歳。

(旧植木町)



境 米蔵氏
昭和51年6月30日表彰

県議会議員を経て、旧植木町初代町長(通算4期)。旧町の産業・経済発展の礎を築いた。開田事業による農業の構造改革及び企業誘致により地域の発展に貢献した。また、西南の役田原坂を公園化し、戦跡の保存・観光振興に努めた。明治30年10月20日生まれ、昭和53年1月2日死去、80歳。



木村 学氏
昭和58年6月21日表彰

旧植木町教育長。徹底した住民対話型の公民館活動により地域社会の近代化に貢献した。第4代植木町長として住民福祉の向上に努める一方、文芸作家として生涯にわたる執筆活動、郷土史研究により、郷土の文化振興に貢献した。明治38年1月21日生まれ、平成6年3月21日死去、89歳。



熊本市 市勢要覧 2014



City of Kumamoto

2014年7月発行

発行人／熊本市企画振興局統計課
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2380



熊本市章

ひらがなのくの字を図案化したもの。和を尊び、人の調和を基本として躍進する熊本市の姿を円形にし、未来へたくましく発展する意味で太い円形にまとめたものです。

(昭和44年8月1日制定)

Kumamoto City Song

熊本市歌

東岡 正治作詞 鳥飼 哲夫作曲 (昭和5年3月制定)

- 一、^{れい ほう あ そ はる のぞ みず} 霊峰阿蘇を遥かに望み 水白川の流れに沿いて
^{こ じょう} 天下に名だたる古城の都 われらの都 大熊本市
- 二、^{とき わ みどり つつ} 常磐の緑いらかを包み 森の都と世に謳われて
^{ぶん うん} 文運さかゆる平和の都 われらの都 大熊本市
- 三、^{りっ し いとな} 商工立市の営みしげく いま新興の光に満ちて
^{せい き} 生氣ぞあふるる文化の都 われらの都 大熊本市
- 四、^{かがや しん しゅ はた} 輝く進取の旗ひるがえし 西日本の最中に立ちて
^{きず り そう} いざいざ築かむ理想の都 われらの都 大熊本市



市の木 イチヨウ

(イチョウ科)

熊本市民には熊本城が銀杏城といわれているようになじみ深く、強健で樹齢が長く、市街地の街路に多く植栽され、独特な尖円錐形の樹形をつくり春の緑陰、秋の黄葉とその美しさでよく知られている。

(昭和49年10月9日制定)



市の花 肥後椿

(ツバキ科)

江戸時代から細川藩の庇護を受け、藩士をはじめ寺社地の豪族等の愛好家によって広められ改良を重ねて、清雅枯淡の味わいある銘花となったといわれている。肥後椿の特色は薄色の花弁が主流でよく整った一重咲きで、中心に金糸銀糸のような色鮮やかな太い雄しべが梅芯のように盛りあがるところにある。(昭和49年10月9日制定)



市の鳥 シジュウカラ

全長約14.5cmで、美しい澄んだ声でさえずり、多量の害虫を食べ、緑を守る益鳥として市民に親しまれている。金峰山や立田山、託麻三山など森に多く生息し白い胸に黒ネクタイ状の帯が目立つ可愛い姿で、四季を通じて観察される。

(昭和59年5月22日制定)